



DTX Studio™ Clinic

バージョン4.7

取扱説明書

目次

はじめに	6
免責事項	6
デバイスの概要	6
使用目的	6
用途/適応	6
対象ユーザーおよび対	
象患者のターゲットグループ	6
対象製品	6
他のデバイスとの必要な互換性	7
口腔内センサー	7
口腔内カメラ	7
口腔内スキャナー	7
ソフトウェア	7
測定機能を備えたデバ	
イス	7
禁忌	7
サイバーセキュリティ	7
サイバーセキュリティイベントの対処法	8
廃止と廃棄	8
相互運用性	8
耐用年数	8
パフォーマンスの要件および制限	8
臨床的利点と望ましくない副作用	9
重大な事故に関する通知	9
施設およびトレーニング	9
医療従事者用	9
システム要件	9
ソフトウェアのインストール	9
取り扱い手順	9
 注意事項および警告	 10
注意事項	10
警告	11
 システム要件	 13
 開始	 14
ソフトウェアの起動	14
ソフトウェアの終了	14
DTX Studio Homeの解説	14

通知領域の解説	15
設定の調整	15
デフォルトの DTX Studio Home 設定の調整	15
設定のエクスポートまたはインポート	15
言語と日付/時刻形式の変更	15
DICOM 準拠の設定の調整	16
デフォルトのイメージフィルタの設定	16
口腔内画像の自動回転の無効化	16
レベルとウィンドウの値における自動設定の無効化	16
DTX Studio Core への接続	17
アクションウィンドウへのショートカットの追加	17
プラクティスマネージメントシステム (PMS) 統合の有効化	18
インプラント製品のインストール	18
TWAIN 対応デバイスの追加	18
他社製デバイスの画像を検出するためのダイレクトフォルダの構成	18
デフォルトのエクスポートフォルダの設定	19
DTX Studio Clinic を閉じるときの自動保存の有効化	19
学習リソースとサポートへの問い合わせ	19
すべての学習リソースとキーボードショートカットの表示	19
テクニカルサポートへの問い合わせ	19
 主な機能の概要	 20
 患者記録	 21
新規患者記録の作成	21
患者記録の管理	21
プライバシーオプションの管理	21
患者記録の検索とソート	22
患者リストのソート	22
患者記録の検索	22
患者記録のエクスポート	22
 データの管理	 23
データのインポート	23
他社製デバイスからの画像のインポート	23
ドラッグアンドドロップによる画像のインポート	23
Clinic モジュールでの画像のインポート	23
クリップボードからのインポート	24
3Shape Dental Desktop ソフトウェアからのインポート	25
手術計画のインポート	25
データの選択	26
患者画像の選択	26

データの共有	26
DTX Studio Goを介した患者データの共有（GoShare経由）	26
3D症例検討の共有	27
2D画像を電子メールで共有するか、他社製アプリケーションに転送する	27
データのエクスポート	28
患者記録のエクスポート	28
患者データのエクスポート	28
インプラント計画のX-Guideへのエクスポート	28
スキャンのリクエスト	29
スキャンのスケジュール	29
スキャンリクエストの検索とソート	29
スキャンリクエストリストのソート	29
スキャンリクエストの検索	29
スキャンリクエストの管理	30
スキャンワークフロー	30
スキャンワークフローの定義	30
スキャンワークフローの適用	30
スキャンの実行	31
予定されているスキャンの実行	31
即時スキャンの実行	31
口腔内センサーまたはIPデバイスによるガイドあり取得	31
口腔内センサーまたはIPスキャナデバイスによるガイドなし取得	32
口腔内カメラによるガイドあり画像取得	33
口腔内カメラによるガイドなし画像取得	33
口腔内スキャナー	33
3Shape TRIOS®スキャナー	33
DEXISスキャナー	34
口腔内のスキャンデータの取得	34
スキャン症例を再度開く	34
DEXIS IS ScanFlowスキャンの再開	34
高度なScanFlow機能の有効化	34
診断または治療計画	35
Clinicモジュールの解説	35
患者診断データ	36
診断の管理	36
歯式チャート	36
歯式チャートの編集	36

患者データ	37
3Dおよび口腔内スキャンビューアの背景の設定	37
デフォルトの画像ズームレベルの設定	37
ビューアの操作	38
ワークスペース	39
ワークスペースのカスタマイズ	42
SmartFocusで関連する歯の情報をすべて表示	42
SmartLayoutでの表示のカスタマイズ	42
サムネイルバーからの画像の配置	43
スマートパネル歯式チャート	43
骨閾値の調整	44
リスライスの調整	44
3Dボリュームのクリップ	44
ワークスペースでの歯科用口腔内カメラの使用	44
患者画像の分析	44
診断所見の追加	49
フォーカスエリア検出	49
フォーカスエリア検出の開始	49
フォーカスエリア検出の管理	50
インプラントと治療の計画	52
自動計画	52
インプラントの配置	53
アンカーピンの追加	53
すべてのインプラントを平行に埋入	53
インプラントまたはアンカーピンのロック	54
サージカルテンプレート	54
サージカルテンプレートの準備	54
サージカルテンプレートの仕上げ	54
NobelGuide	55
NobelGuideの作成	55
NobelGuideのオーダー	55
インプラント製品のオーダー	55
レポート	56
レポートの作成	56
医院のロゴの追加	56
DTX Studio Implantを開く	56
DTX Studio ClinicとDTX Studio Implantの接続	56
DTX Studio Implantの起動	57
オーダーとパートナーの共同編集	57
手術計画、サージカルテンプレート、または補綴修復のオーダー	57
提携パートナーとの接続の確立	57
提携パートナーからの直接オーダー	58
提携パートナーの症例の表示または新しいデータの追加	58

はじめに

免責事項

この製品は、包括的なコンセプトの一部であり、ノーベルバイオケア（以下「当社」とする）の取扱説明書と推奨事項に従い、適合する専用の製品との組み合わせでのみ使用できます。他社製品にノーベルバイオケアの製品を組み合わせることで推奨されない方法で使用了場合、ノーベルバイオケアのいかなる保証も、その他のいかなる義務も、明示/黙示を問わず無効になります。ノーベルバイオケアの製品を使用する際には、いかなる製品についても、それが特定の患者およびその状況に適合するかどうかを判断しなければなりません。ノーベルバイオケアは、ノーベルバイオケア製品の使用において、専門的な判断または治療におけるエラーが原因となつて生じるか、またはそれらに関係して生じる、直接的損害、間接的損害、懲罰的損害、またはその他のいかなる損害の責任も明示/黙示を問わず負わないものとします。ユーザーは、この製品に関する最新の開発動向およびその適用について、定期的に学ぶ義務を負っています。ユーザーは、不明な点がある場合には、当社に連絡する必要があります。この製品の使用はユーザーの管理下にあることから、製品使用はユーザーの責任です。当社は、この製品の適用が原因で生じる損害に対して一切の責任を負いません。

本取扱説明書で言及している製品のうち、国や地域によっては一部の製品が未認可、未販売、または未承諾の場合があります。ご了承ください。

DTX Studio™ Clinicをご使用になる前に、取扱説明書をお読みにになり、今後必要になるときに備えて保管しておいてください。本書で取り上げる情報は、すぐに使えるように簡潔に示されています。

デバイスの概要

DTX Studio Clinicは、歯牙、頭蓋顎顔面状態、および関連する状態の治療を目的として2Dおよび3Dの画像データをタイムリーに分析するために使用する、歯科医師向けのソフトウェアインターフェースです。DTX Studio Clinicでは、さまざまなデバイス（口腔内および口腔外X線撮影装置、（CB）CTスキャナー、口腔内スキャナー、口腔内カメラおよび口腔外カメラなど）からの画像データが表示され、処理されます。

使用目的

このソフトウェアは、歯科と頭蓋顎顔面における診断プロセスと治療計画をサポートすることを目的としています。

用途/適応

DTX Studio Clinicは、歯牙および頭蓋顎顔面の画像情報を取得、管理、転送、解析するためのソフトウェアプログラムです。疑わしい歯科所見の検出をサポートし、歯科修復ソリューションのデザイン情報を提供するために使用できます。

さまざまなソースからのデジタル画像が表示されて画質が高められ、診断プロセスおよび治療計画がサポートされます。これらの画像は、システム内に保存したり、異なる場所にある複数台のコンピュータシステム間でやり取りしたりすることができます。

対象ユーザーおよび対象患者のターゲットグループ

DTX Studio Clinicは、学際的治療チームによって使用され、歯科治療、頭蓋顎顔面治療または関連する治療を受ける患者の治療をサポートするために使用されます。

対象製品

サージカルガイド形状ファイル（STL）。

他のデバイスとの必要な互換性

DTX Studioエコシステムは、最新リリースを含む、最も使用されているオペレーティングシステムであるWindowsおよびMacと互換性があります。

DTX Studio Clinicは、他の医療デバイスと接続されており、DTX Studio Clinicの旧バージョンと互換性があります。

口腔内センサー

DEXIS™ Titanium、DEXIS Platinum、GXS-700™、DEXIS IXS™、Gendex™ GXS-700™、DEXIS™ Ti2。

口腔内カメラ

DEXIS™ DexCAM™ 4 HD、DEXIS™ DexCAM™ 3、DEXIS™ DexCAM 4、Gendex™ GXC-300™、KaVo DIAGNOcam™ Vision Full HD、KaVo DIAGNOcam™、CariVu™、KaVo ERGOcam™ One。

口腔内スキャナー

MEDIT Linkソフトウェアとの互換性*

CS 3600/DEXIS IS 3600、CS 3700/DEXIS IS 3700、CS 3800/DEXIS IS 3800の口腔内スキャナーや他の互換性のあるモデルをサポートするDEXIS™ IS ScanFlow*との互換性。

ソフトウェア

DTX Studio™ Core*、DTX Studio™ Implant、DTX Studio™ Go、DTX Studio™ Lab*、CyberMed OnDemand3D™*、Osteoid（以前のAnatomage）InVivo™。

*Windowsオペレーティングシステムでのみ使用可能な製品です。

ソフトウェアバージョンを更新した後は、開いている患者の症例や治療計画の重要な設定を確認して、新しいソフトウェアバージョンでこれらの設定が正しいことを確認することをお勧めします。設定が正しくないと、診断および計画または実際の治療の遅延あるいは再スケジュールにつながる可能性があります。

測定機能を備えたデバイス

測定の正確度と精度は、スキャナーデバイスの取扱説明書に従って取得された（コーンビーム）CT スキャンの入力に基づく線形測定では0.1 mm、角度測定では0.1度であり、ボクセルサイズは0.5 mm x 0.5 mm x 0.5 mmです。

DTX Studio Clinicでは、値がユーザー選択のポイントに基づいて小数点以下1桁に四捨五入されて報告されます。

禁忌

DTX Studio Clinicでは特に確認されていません。

サイバーセキュリティ

サイバーセキュリティの脅威から業務を守ること、は、メーカーである弊社とヘルスケアプロバイダーであるお客様との共同責任です。ノーベルバイオケアは、そのような脅威からソフトウェアが守られるよう注意を払っています。

DTX Studio Clinicを使用するコンピュータには、ファイアウォールを正しく構成したうえで、最新かつ有効なウイルス対策ソフトウェアやマルウェア対策ソフトウェアをインストールすることが推奨されます。これを怠ると、不正なアクセスにつながる可能性があります。

DTX Studio Coreの環境では、https経由でDTX Studio Coreと接続することが推奨されます。この接続の設定方法は、DTX Studio Coreガイドラインを参照してください。

設定でログの監査を有効にして、これらのログが不正アクセスから保護されるようにすることが推奨されます。これを怠ると、悪意のあるアクティビティが検知できない可能性があります。

ソフトウェアへのアクセスは二段階認証を使用し、コンピュータを離れるときは、必ずロックしてください。これを怠ると、不正なアクセスにつながる可能性があります。

必ずオフィスのネットワークが不正アクセスから保護され、ビジターネットワークから隔離されるようにしてください。これを怠ると、不正なアクセスにつながる可能性があります。

データの紛失の原因となり得る予期しないシステムエラーや悪意のあるイベントからすばやく回復できるよう、患者データを定期的にバックアップするようにしてください。

管理者権限なしでDTX Studio Clinicを起動することが推奨されます。これを怠ると、他社製の悪意のある実行可能ファイルが意図せず起動する可能性があります。

DTX Studio Clinicを入手可能な最新のソフトウェアバージョンに常に更新することが推奨されます。これを怠ると、不正なアクセスにつながる可能性があります。

インストール時のバックアップ、ファイアウォールおよびセキュリティの設定に関する技術的な詳細については、DTX Studio Clinicインストールガイドを参照してください。

本ソフトウェアのソフトウェア部品表 (SBOM) はご要望に応じて提供しています。コピーをご希望の方は、カスタマーサポート (www.dtxstudio.com/en-int/support) にお問い合わせください。

サイバーセキュリティイベントの対処法

不正アクセスや悪意のあるソフトウェアによりシステムが侵害された可能性がある場合は、製品の動作やパフォーマンスに異常がみられる場合があります。このような場合は、ただちにカスタマーサポート (www.dtxstudio.com/en-int/support) にご連絡ください。

廃止と廃棄

コンピュータでのDTX Studio Clinicの使用を中止する場合や、DTX Studio Clinicがインストールされているコンピュータを廃棄する場合は、以下の手順に従ってください。

- 重要な情報を紛失しないように、データ保護およびデータプライバシーに関する現地の法律と規制に従って、本アプリにある必要なすべてのデータをバックアップしておいてください。

- 本アプリのアンインストール：
DTX Studio Clinicおよびそこに保存されたデータへの不正アクセスを防止するために、オペレーティングシステムプロバイダーの指示に従ってデバイスから本アプリをアンインストールしてください。

相互運用性

DTX Studio Clinicは、以下の製品と相互運用可能です。

- DTX Studio Core
- DTX Studio Implant
- DTX Studio Go
- DTX Studio Lab
- CyberMed OnDemand3D
- MEDIT Link
- DEXIS IS ScanFlow
- DTX Studio Assist

耐用年数

ソフトウェアの場合、耐用年数は3年です。サポートされているオペレーティングシステムで使用する、用途に応じてソフトウェアのパフォーマンスが維持されます。

パフォーマンスの要件および制限

DTX Studio Clinicは、承認されているオペレーティングシステムでのみ使用してください。詳細については、取扱説明書の「[システム要件](#)」を参照してください。

臨床的利点と望ましくない副作用

DTX Studio Clinicは、歯科治療または頭蓋顎顔面治療のコンポーネントです。歯科医師は、このソフトウェアが診断および治療計画のプロセスをサポートすることを期待できます。

このソフトウェアの臨床的な利点は以下の通りです：

- 画像の可視化、分析、アノテーションを可能にし、診断をサポートします。
- インプラント計画や、治療計画を強化するためのサージカルテンプレートを作成を容易にします。

DTX Studio Clinicでは、望ましくない副作用は確認されていません。

重大な事故に関する通知

このデバイスの使用中、または使用の結果として、重大な事故が発生した場合は、製造元および各国当局に報告してください。重大な事故を報告するための、このデバイスの製造元の連絡先は以下のとおりです。

Nobel Biocare AB

<https://www.nobelbiocare.com/complaint-form>

施設およびトレーニング

歯科医師は、インプラント、補綴物、および関連するソフトウェアの経験の有無（経験値）にかかわらず、新しい治療法に着手する前には必ず、そのための研修を受けることが強く推奨されます。

ソフトウェアの知識と理解が不足していると、診断および計画または実際の治療の遅延あるいは再スケジュールにつながる可能性があります。

ノーベルバイオケアは、歯科医師が知識や経験のレベルに合わせて選択できるように、さまざまなコースを提供しています。

詳細については、tw.dtxstudio.comのトレーニングサイトをご覧ください。

医療従事者用

DTX Studio Clinicは医療従事者専用です。

システム要件

ソフトウェアのインストールを開始する前に、[システム要件](#)を確認してください。最小要件や推奨要件に関する情報を入手するには、テクニカルサポートまでお問い合わせください。ソフトウェアの新しいバージョンでは、ハードウェアまたはオペレーティングシステムによっては、より高い要件が必要になる場合があります。

ソフトウェアのインストール

ソフトウェアのインストール方法については、DTX Studio Clinicインストールガイドを確認してください。本文書はユーザー文書ライブラリ（ifu.dtxstudio.com）からダウンロードできます。何か問題が発生した場合やサポートが必要な場合は、担当の技術者またはカスタマーサポート（support@dtxstudio.com）にご連絡ください。

取り扱い手順

ソフトウェアの使用方法的詳細については、この取扱説明書の詳細な手順を参照してください。

注意事項および警告

注意事項



新しい治療法やデバイスを使用する際は、事前にトレーニングを受けておくことをお勧めします。

新しいデバイスや治療法を初めて使用する際は、その新しいデバイスの使用法や治療法に関して経験が豊富な歯科医師とともに治療を行うことで、可能性のある合併症を防ぐことができます。

より正確にスキャンするために、スキャンプロセス中は患者の動きが最小限に抑えられていることを確認する必要があります。

ソフトウェアの知識と理解が不足していると、診断および計画または実際の治療の遅延あるいは再スケジュールにつながる可能性があります。

ソフトウェアで提供される診断および計画のツールを使用するときは、特に以下の点に注意を払うことが重要です。

- 対象となる適応症が正確であること（可視化、測定、重要な構造、インポートされたデータ、インプラント計画）。
- 自動化された機能の結果が正確であること（デンタルスキャンのアライメント、穴の自動充填、気道セグメンテーション、デンタルカーブおよびセグメント化された模型）。
- 患者IDが正確であること（PMSシステムを介して患者記録を開いた後、およびスキャンリクエストを作成するとき）。
- データが古いものでなく、最新であること。

これらを満たさないと、診断と計画または治療の見直しが必要になるリスクが高まり、その結果、診断および計画または実際の治療の遅延あるいは再スケジュールにつながる可能性があります。

画像キャプチャデバイスを使用する場合は、特に注意することをお勧めします。誤った使い方をすると、診断および計画または治療の遅延や再スケジュールにつながったり、患者に不必要な追加の放射線被ばくを与えたりするおそれがあります。

ソフトウェアからレポートまたは患者データを抽出する場合に、匿名化されていない患者データが、患者の同意なしに誤った目的に使用される可能性があることを理解しておくことが重要です。

特に、割り当てられた歯番号とビューアの方角のマーキングに注意を払うことをお勧めします。割り当てられた歯番号や患者の方角が誤っていると、患者に対する治療が正しく行われなかった可能性があります。

ソフトウェアバージョンを更新した後は、開いている患者の症例や治療計画の重要な設定を確認して、新しいソフトウェアバージョンでこれらの設定が正しいことを確認することをお勧めします。設定が正しくないと、診断および計画または実際の治療の遅延あるいは再スケジュールにつながる可能性があります。

作成したインプラント計画、インプラントの相互の配置、および他の重要な解剖学的構造に対するインプラントの配置に特別な注意を払うことをお勧めします。さらに、エクスポート用に適切なインプラント計画が選択されていることと、エクスポートしたインプラント計画またはサージカルガイドにインプラント手術に必要な情報がすべて含まれていることを必ず確認してください。

これらを満たさないと、診断と計画または治療の見直しが必要になるリスクが高まり、その結果、診断および計画または実際の治療の遅延あるいは再スケジュールにつながる可能性があります。

警告

次の警告がソフトウェアに表示されます。



DICOMファイルでの名前が、患者名とは異なります。

誤ったデータを使用して患者モデルを作成するリスクを軽減するには、患者名を確認し、患者名と使用されるDICOMセットの名前が一致するかどうかを確認してください。

DEXファイルでの名前が、患者名とは異なります。

誤ったデータを使用して患者診断を行うリスクを軽減するには、患者名を確認し、患者名と使用されるDEXファイルの名前が一致するかどうかを確認してください。

現在の診断に3D X線データを追加できません。

現在の診断には、手術計画にリンクされた3D X線データが含まれています。新しい診断を作成して3Dスキャンをインポートしてください。

現在の診断に最終インプラント計画を追加できません。

現在の診断に含められた3D X線データに基づいて、手術計画を選択してください。

8ビットで画像をエクスポートした場合は、忠実性に欠ける可能性があります。

画質を維持するために、画像を別の形式でエクスポートすることをお勧めします。

患者を放射線にさらさないでください。

デバイスを準備できませんでした。この状態では、デバイスはX線照射を受け取れません。デバイスを再接続するか、再起動してもう一度試してください。問題が解決しない場合は、テクニカルサポートまでお問い合わせください。

次の照射用のセンサーを準備しています。お待ちください。

デバイスは現在再準備中です。この状態では、デバイスはX線照射を受け取れません。

デバイスのスキャンリクエストパラメータを確認してください。

患者をスキャンする前に、デバイスのパラメータを確認してください。

実際のインプラントの形状を使用せずに治療計画を変更することはお勧めできません。

実際の形状は、DTX Studio Goからダウンロードできます。

画像が反転されています。

この警告は、ユーザーが画像を手動で（水平または垂直に）反転した場合に表示されます。

画像がトリミングされています。

この警告は、ユーザーが画像を手動でトリミングした場合に表示されます。

口腔内画像の自動ソート（MagicAssist）は、双生、叢生、巨大歯のない永久歯列にのみ使用することを目的としています。

適切な条件から外れる患者の画像にMagicAssistを使用するリスクを減らすため。

DTX Studio ClinicとX-Guideソフトウェアでは、データの表示（ビューアの方角、オブジェクトの色など）および警告が異なる可能性があることに注意してください。

サポート対象外のインプラント。

DTX Studio Clinicでサポートされているのは、X-Guide™にエクスポートするインプラントの選択のみです。サポート対象外のインプラントは、X-Guide™ファイルに含まれません。



インプラントが注釈付きの解剖学的構造に近すぎます。

計画したインプラントが、注釈付きの解剖学的構造（注釈付きの神経など）に近すぎます。インプラントが解剖学的構造に当たっていないことを確認してください。

インプラント同士がぶつかっています。

一部のインプラントが互いにぶつかっています。これにより、術中に問題が発生するおそれがあります。治療計画の見直しをお勧めします。

患者記録を同期しています。今アプリケーションを閉じると、最新の変更はDTX Studio Coreに保存されません。

患者記録が更新され、DTX Studio Coreへの同期はまだ完了していません。まず同期が完了していなければ、クリニックの他のユーザーが患者に関する最新の変更を閲覧することはできません。

インプラント位置の調整

この警告は、「最適化されたインプラント位置の計算」アルゴリズムによって決定される初期位置にインプラントが残っている場合に、インプラント計画のエクスポート時、サージカルテンプレートまたはNobelGuideの作成時に表示されます。

DTX Studio Clinicでは、技術的な警告（CTデータの矛盾など）がいくつか表示されます。

より正確にスキャンするために、ソフトウェアの指示と技術的な通知に従うことを強くお勧めします。

口腔内画像の自動ソート（MagicAssist）は、双生、叢生、巨大歯のない永久歯列にのみ使用することを目的としています。

歯科医師は、フォーカスエリア検出で特定された結果だけに頼らず、患者データセット全体の完全な系統的レビューと解釈、およびその他の鑑別診断法を実行する必要があります。

フォーカスエリア検出は、検出可能な画像に限定されます。

フォーカスエリアの自動検出は、双生、叢生、巨大歯のない永久歯列にのみ使用することを目的としています。

システム要件

オペレーティングシステム ¹	デスクトップ版またはノートブック版のWindows® 11または10 64ビット（ProおよびEnterpriseエディション）	
	iMacのmacOS Sequoia（15）、Sonoma（14）、またはVentura（13）（Intel®ベースのMacおよびM1 Chip以上を搭載したApple Silicon Mac）、Mac Mini、Mac Pro、MacBook Pro、MacBook Airデバイス。 ²	
基本的なセットアップ（2D画像のみ）		推奨されるセットアップ（2Dおよび3D画像においてパフォーマンスが向上する）
CPU	デュアルコアまたはクアッドコア	2.8 GHzクアッドコア（インテルCore i5またはi7）
RAM	専用インストールの場合は最低4GB。同じコンピュータで他のアプリケーションを実行する場合は、追加のRAMをお勧めします。	専用インストールの場合は最低8GB。同じコンピュータで他のアプリケーションを実行する場合は、追加のRAMをお勧めします。
グラフィックカード	エントリーレベルの専用アドインカードまたはインテル内蔵グラフィックス。第9世代Intelグラフィックス内蔵の第6世代インテルCPU以上がサポートされています。OpenGL® 3.3のサポートが必要です ³ 。	最適な3Dサポート（OpenGL 3.3）と2 GB VRAM以上を備えた専用アドイングラフィックカード。4Kディスプレイの場合は、4 GB以上のVRAMを推奨します。
AI診断モジュールを使用する場合： Windowsでアルゴリズムをハードウェアアクセラレーションするには、DirectX 12対応GPUとWindows 10のバージョン1903以上が必要です。 Macでアルゴリズムをハードウェアアクセラレーションするには、macOS Sonoma (14)以上が必要です。最高のパフォーマンスを得るには、M1チップ以上のApple Silicon Macを推奨します。 注記 MagicAssistのハードウェアアクセラレーションは、DTX Studio Home パフォーマンス設定で設定します。		
ディスク容量	インストール用の10 GBの空きディスク容量と、ユーザー作成データ用の追加のディスク容量。DTX Studio Clinicの一般的な2D患者データセットは約10 MBです。	インストール用の10 GBの空きディスク容量と、ユーザー作成データ用の追加のディスク容量。DTX Studio Clinicの一般的な3D患者データセットは約250 MBです。
ネットワーク	アップロード速度が3 Mbps、ダウンロード速度が30 Mbpsのブロードバンドインターネット接続。 DTX Studio Clinicから外部のサービスやアプリケーションに接続するには、常にインターネットに接続しておくことが推奨されます。それができない場合、DTX Studio Clinicへのアクセスが一時的に中断される可能性があるため、少なくとも14日に1回接続する必要があります。インターネットへの接続が再度確立すると、DTX Studio Clinicへのアクセスは回復します。	
ハードディスク	Macデバイスの場合は、APFS、HFS+またはHFSJの大文字と小文字を区別しないドライブにのみDTX Studio Clinicをインストールしてください。	
モニター	フルHD（1,920×1,080）以上。画面のスケーリングが行われている場合、情報が欠落して見えることがあります。このため、同等のスケーリング解像度を1,920×1,080未満にすべきではありません。	
LAN	DTX Studio ClinicをDTX Studio Coreと一緒にインストールする場合は、ローカルのギガビットネットワークをお勧めします。	

1 確認されているバグや脆弱性を修正し、ユーザーとコンピュータシステムの安全性を高めるため、利用可能な最新版のオペレーティングシステム（OS）をインストールすることが強く推奨されます。

2 一部のMacBook Air®およびMac® Mini構成のグラフィックカードには、ボリュームレンダリングに関する制限があります。低解像度のボリュームレンダリングを選択することを検討してください。

3 最高のパフォーマンスを得るには、それぞれのモデルにインテルから入手可能な最新の統合型グラフィックカードのドライバを常に使用してください。グラフィックカードのOpenGL®バージョンを確認するには、<http://realtech-vr.com/admin/glvview>をご覧ください。

開始

ソフトウェアの起動

1. DTX Studio Clinicを開きます。
 - Windowsでは、デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックします。
 - macOSでは、FinderアプリケーションフォルダまたはDock内のショートカットアイコンをクリックします。
2. ユーザーを選択します。
3. パスワードを入力します。
4. [ログイン]をクリックします。

注記

DTX Studio Goに2要素認証を設定すると、30日ごとに6桁の確認コードを入力してログインする必要があります。

DTX Studio Clinicは、常時インターネットに接続しておく必要があります。それができない場合、DTX Studio Clinicへのアクセスが一時的に中断される可能性があるため、少なくとも14日に1回接続する必要があります。

ソフトウェアの終了

アクティブなDTX Studio Clinicとスキャン・モジュール*のインスタンスをすべて閉じてください。

[メニュー]をクリックし、[アプリケーションを閉じる]をクリックしてください。

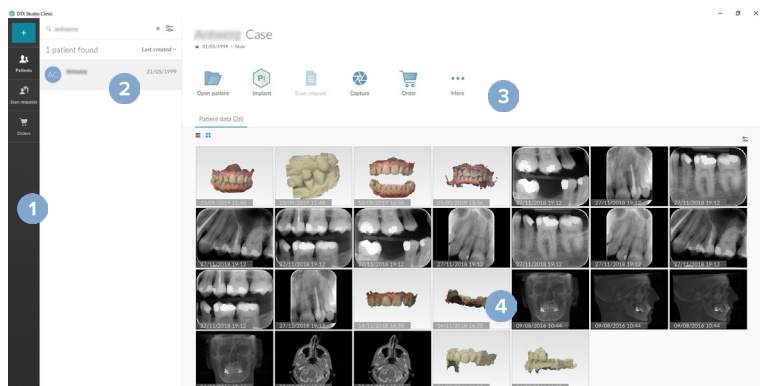
注記

終了ボタンを使用すると、ソフトウェアはバックグラウンドで実行されるため、データを同期することができ、DTX Studio™ Home / DTX Studio Clinicを再度開いたときの反応が早くなります。

*モジュールはライセンス契約されている可能性があります。

DTX Studio Homeの解説

DTX Studio Homeは、患者記録、スキャンリクエスト、および一般設定を選択し管理するための作業領域です。



- 1 サイドバー
- 2 患者リスト
- 3 アクションウィンドウ
- 4 詳細ウィンドウ

通知領域の解説

通知領域の  アイコンから、DTX Studio Homeの設定 () と以下の機能にアクセスできます。

- **[通知]**：アップロードされている患者の記録またはDTX Studio Coreと同期されている患者の記録が表示されます。
- **[DTX]**：DTX Studio Core ()、DTX Studio Go ()、照射線量レポート*、QuickPrescribe*、またはリンクされている他社製アプリケーションにすばやくアクセスできます。
- **[デバイス]**：他社製デバイスの画像をインポートするための直接フォルダを一覧表示し、取得デバイスとそのステータス (USBまたはTWAIN経由で接続 、オンライン 、ビジー 、またはオフライン ) を表示します。デバイスの設定、フォルダのインポート設定にアクセスしたり、不要なデバイスを無効にしたりするには、... をクリックしてください。

* DTX Studio Coreが必須です。

設定の調整

デフォルトの DTX Studio Home設定の調整

1. **[メニュー ≡]** をクリックします。
2. **[設定 ⚙️]** をクリックします。

設定のエクスポートまたはインポート

設定されたプリファレンスを含む設定ファイルを作成またはインポートします。これは、設定を新しいインストールにエクスポートしたり、DTX Studio Clinicの他のユーザーと設定を共有したり、バックアップを作成したりする場合に有用です。

注記

詳細については、ヘルプファイルの「設定の共有」トピックを参照してください。  をクリックして**[ヘルプ]**を選択してください。

DTX Studio Homeの**[設定]**サイドバーで、**[設定の共有]**をクリックします。

- 設定ファイルを**エクスポート**するには、**[すべての設定]**を共有するか、**[設定のサブセット]**を共有するかを選択します。サブセットオプションでは、どの設定を含めるかを個別に選択できます。この設定ファイルは、DTX Studio Coreにアップロードして、診療所内の他のDTX Studio Clinicユーザーに配布できます。
- 設定ファイルを手動で**インポート**するには、設定ファイルをコンピュータからインポートするか、DTX Studio Coreからインポートするかを選択します。

言語と日付/時刻形式の変更

使用言語、日付形式、時刻形式を調整するには、次の手順に従ってください。

1. [DTX Studio Home **設定**] サイドバーで、**[全般]** をクリックします。
2. **[短い日付形式]**、**[長い日付形式]**、**[時刻形式]** のリストで日付と時刻の形式を選択します。
3. **[アプリケーションの言語]** リストから使用する言語を選択します。
4. **[OK]** をクリックします。
5. 変更を有効にするには、DTX Studio Clinicを再起動します。

DICOM準拠の設定の調整

DIN 6862-2スタンダードへの準拠を確認するには、医院情報を入力してください。DICOMファイルをエクスポートすると、提供した医院情報で空のタグが置き換えられます。

1. [DTX Studio Home **設定**]サイドバーで、[**全般**]をクリックします。
2. [**DIN 6862-2スタンダードを使用**]を選択します。
3. 要求された医院情報を入力します。
4. [**OK**]をクリックします。

注記

準拠するDICOMファイルをインポートおよびエクスポートすると、DIN 6862-2タグが常に保持されます。

デフォルトのイメージフィルタの設定

DTX Studio HomeビューアとDTX Studio Clinicについて、デフォルトのイメージフィルタを設定するには、次の手順に従ってください。

1. DTX Studio Homeの[**設定**]サイドバーまたはDTX Studio Clinicの環境設定のサイドバーで、[**画像設定**]をクリックします。
2. [**デフォルト画像設定**]リストから、デフォルトのフィルタ設定を設定する画像タイプを選択します。

注記

ガンマフィルタのカスタム値を設定するには、[**デフォルト画像設定**]リストから[**パノラマ**]、[**口腔内**]、または[**セファログラム**]を選択してください。[**ガンマ**]オプションを[**手動**]に設定してください。

3. 選択した画像タイプのデフォルトとして使用するフィルタを選択し、表示されたスライダーを使用してフィルタのパーセンテージを設定します。
4. [**OK**]をクリックします。

初期設定のデフォルト値に戻す場合は、[**リセット**]をクリックしてください。

口腔内画像の自動回転の無効化

即時スキャンを実行すると、口腔内画像は自動的に正しい位置へと回転します。この機能を無効にするには、次の手順に従ってください。

1. [DTX Studio Home **設定**]サイドバーまたはDTX Studio Clinicの環境設定のサイドバーで、[**画像設定**]をクリックします。
2. [**DTX Studioのキャプチャで口腔内X線画像の自動回転を適用する**]の選択を解除します。

レベルとウィンドウの値における自動設定の無効化

2D画像をインポートまたは取得すると、レベルとウィンドウの値が自動的に設定されます。この機能を無効にするには、次の手順に従ってください。

1. DTX Studio Homeの[**設定**]サイドバーまたはDTX Studio Clinicの環境設定のサイドバーで、[**画像設定**]をクリックします。
2. 右上のドロップダウンメニューで、[**パノラマ**]、[**口腔内**]、または[**セファログラム**]を選択します。
3. [**自動レベルウィンドウ**]スイッチをオフ  にします。
4. カスタムのレベルとウィンドウの値を入力します。
5. [**OK**]をクリックします。

DTX Studio Core への接続

DTX Studio Coreは、患者のさまざまな種類のメディアや画像データ（2D X線、3D（CB）CT X線、歯科光学学印象、写真）を一元化した方法で保存して取り出すためのソフトウェアソリューションです。これにより、歯科医院内のどこからでも保存したデータにすぐにアクセスできるようになります。

- DTX Studio Coreと接続すると、DTX Studio Clinicをネットワーク環境で使用し、サポートされている他のイーサネット接続デバイスや3Shape TRIOS®デバイスから画像を取得することができます。
- ネットワークデバイス、スキャンリクエストを処理し、X線レポートにアクセスするには、DTX Studio Coreとの接続を確立する必要があります。

DTX Studio Coreとの接続を確立するには、次の手順に従ってください。

1. DTX Studio Homeの[設定]サイドバーで、[DTX Studio Core]をクリックします。
2. DTX Studio CoreのURL（Webアドレス）が未入力の場合は入力してください。
3. [接続]をクリックします。
4. 接続要求が送信されると、ローカル管理者はDTX Studio Core UIを介して受け入れることができます。

重要

DTX Studio Clinic 4.7にはDTX Studio Core/バージョン4.1以降が必要です。アップグレードする場合は、DTX Studio Clinicクライアントをアップグレードする前にDTX Studio Coreをアップグレードする必要があります。

アクションウィンドウへのショートカットの追加

アクションウィンドウに他社製アプリケーションやウェブページのショートカットを追加するには、次の手順に従ってください。

1. DTX Studio Homeの[設定]サイドバーで、[クイック起動]をクリックします。
2. [追加]をクリックし、[アプリケーション]または[ウェブページ]を選択します。
3. アプリケーションの場合は、実行可能ファイルを選択し、[開く]をクリックします。ウェブページの場合は、URLを入力します。
4. 必要に応じて、[アプリケーション名]または[ウェブページ名]を変更します。
5. 必要に応じて、[患者データを読み込んで起動]を選択し、患者データを読み込んで他社製アプリケーションを起動します。
 - エクスポートパラメータを[エクスポートパラメータ]フィールドに追加して、エクスポートするデータを指定します。

注記

患者データのすべてのパラメータに関する詳細については、ヘルプファイルの「クイック起動」のトピックを参照してください。☰をクリックし、[ヘルプ]を選択してください。

- [参照]をクリックして、エクスポートしたデータの保存場所を選択します。
6. [OK]をクリックします。

プラクティスマネージメントシステム（PMS）統合の有効化

DTX Studio ClinicをPMSと統合すると（VDDSまたはOPP/OPPウェブを介して）、PMS内に患者記録を作成したり、PMSから画像を取得したりできます。

PMS画像をDTX Studio Homeでプレビューしたり、DTX Studio Clinicに直接表示したりできます。

1. [DTX Studio Home **設定**]サイドバーで、[**PMS統合**]をクリックします。
2. [**PMS統合の有効化**]を選択します。

注記

詳細については、ヘルプファイルの「PMS統合」のトピックを参照してください。☰をクリックし、[**ヘルプ**]を選択してください。

インプラント製品のインストール

DTX Studio Clinicにおけるインプラント計画のために利用可能なインプラント製品の形状をインストールまたは更新するには：

1. DTX Studio Homeの[**設定**]サイドバーで、[**インプラント製品**]をクリックします。
2. 使用するブランドを探し、[**インストール**]または[**アップデート**]をクリックします。

TWAIN対応デバイスの追加

1. DTX Studio Homeの[**設定**]サイドバーで、[**デバイス**]をクリックします。
2. [**追加**]をクリックします。
3. TWAINデバイスを選択します。
4. デバイスの設定を構成します。
5. [**追加**]をクリックします。

他社製デバイスの画像を検出するためのダイレクトフォルダの構成

他社製カメラデバイスまたは他社製（CB）CTデバイスからの画像を追加するには、新しい画像が検出されることになる直接フォルダをセットアップしてください。[**キャプチャ**]アクションで、画像を患者記録に追加してください（DTX Studio Clinic内から追加することもできます）。

1. カメラデバイスの設定を準備します。
 - 可能であれば、他社製のカメラデバイス、（CB）CTデバイス、またはワイヤレスSDカードをセットアップして、画像を特定のフォルダに保存します。
 - 画像が標準のSDカードに保存されている場合は、そのSDカードを挿入し、割り当てられたドライブ文字を書き留めます。
2. DTX Studio Homeの[**設定**]サイドバーで、[**デバイス**]をクリックします。
3. [**追加**]をクリックします。
4. 目的の他社製デバイスを選択し、[**開く**]をクリックします。
5. [**参照**]をクリックし、カメラデバイスフォルダを選択して、[**フォルダの選択**]をクリックします。
6. 具体的な名前を入力します。
7. 必要に応じて、モダリティとフォルダの優先順位を変更します。
8. [**追加**]をクリックします。

デフォルトのエクスポートフォルダの設定

レポート、スクリーンショット、X-Guideファイルのデフォルトのエクスポートフォルダを指定するには、次の手順に従ってください。

1. [DTX Studio Home [設定](#)]サイドバーで、[[エクスポート](#)]をクリックします。
2. エクスポートタイプごとに[参照](#)をクリックし、デフォルトのフォルダを選択します。

DTX Studio Clinicを閉じるときの自動保存の有効化

1. DTX Studio Clinicの環境設定で、[全般](#)を選択します。
2. [患者を閉じるときに自動保存](#)を有効にします。

この設定はデフォルトで有効になっており、閉じる前に患者記録を保存するよう求めるメッセージが表示されなくなります。

学習リソースとサポートへの問い合わせ

すべての学習リソースとキーボードショートカットの表示

ヘルプドキュメント、取扱説明書、キーボードショートカットを表示するには、をクリックし、[ヘルプ](#)、[キーボードショートカット](#)、または[取扱説明書](#)を選択してください。もしくは、DTX Studio Clinicのをクリックしてください。

トレーニングビデオのWebサイトと製品ツアーは、DTX Studio Clinicでのみ開くことができます。またはをクリックし、[トレーニングビデオ](#)または[製品ツアー](#)を選択してください。

テクニカルサポートへの問い合わせ

テクニカルサポートに問い合わせるには、をクリックし、[サポートへの問い合わせ](#)を選択してください。すべての問い合わせ方法が記載されたサポートWebサイトが開きます。

主な機能の概要

DTX Studio Homeの主な機能を使用するには、次の手順に従ってください。

-
- | | | |
|---|-----------------|---|
| 1 | 患者記録を作成またはリンクする |  患者記録を作成します (ページ21 を参照)。 |
| | |  プラクティスマネジメントシステムを統合し (ページ18 ページを参照)、既存のPMS患者記録をリンクします。 |
-
- | | | |
|---|------------------|---|
| 2 | データを取得またはインポートする |  スキャンを取得するか、複数のスキャンワークフローを開始するか (ページ30 ページを参照)、直接フォルダから他社製デバイスの画像をインポートします (ページ23 ページを参照)。 |
| | |  1つのスキャン、もしくは複数のスキャンワークフローをリクエストします (ページ30 を参照)。 |
| | |  患者記録に画像をドラッグアンドドロップします (ページ23 を参照)。 |
| | |  DTX Studio Clinic内のデータをインポートします (ページ23 を参照)。 |
| | |  3Shape Dental Desktopソフトウェアからインポートします (ページ25 を参照)。 |
-

患者記録が作成され、データが追加されたら、次の手順に進んでください。

-
- | | |
|-----------------|---|
| 診断を行い、治療の計画を立てる |  <ul style="list-style-type: none">- 画像を診断する (ページ44を参照)- インプラントと治療を計画する (ページ52を参照)- サージカルテンプレートを作成する (ページ52を参照)- 3D症例の検討を患者と共有する (ページ27を参照) |
| |  必要に応じて、DTX Studio Implantを開きます (ページ57 を参照)。 |
-
- | | |
|------------------------------|--|
| DTX Studio Clinicで共有してやり取りする |  患者記録をエクスポートします (ページ22 を参照)。 |
| |  X-Guideにインプラント計画をエクスポートします (ページ28 を参照)。 |
-
- | | |
|------------------------|--|
| DTX Studio Homeでオーダーする |  <p>DTX Studio Goを介して患者記録と患者データを共有するか (ページ26ページを参照)、パートナーと共同編集します。</p> <p>必要に応じて、補綴修復、サージカルテンプレート、または手術計画をオーダーします (ページ57を参照)。</p> |
|------------------------|--|
-

患者記録

新規患者記録の作成

1.  をクリックします。
2. **[患者を作成]**を選択します。
3. 患者名、生年月日、性別など、基本的な患者情報を入力します。
4. **[作成]**をクリックします。
5. 患者記録が**[患者 ** リストに追加されます。DTX Studio HomeがDTX Studio Coreに接続されている場合は、DTX Studio Coreにも患者記録が追加されます。

患者記録の管理

患者リストをまだ開いていない場合は、サイドバーの**[患者 **] をクリックして患者リストを開いてください。

注記

ワークステーションがDTX Studio Coreに接続されていない場合は、ローカルに保存されている患者記録だけが表示されます。

- ローカルのワークステーションまたはネットワークに接続されたワークステーションのDTX Studio Clinicで開かれた患者記録には、 マークが付いています。
- 基本患者情報を編集するには、患者リストで患者記録を選択し、**[その他 ...]** をクリックして**[編集 **] を選択してください。
- 選択した患者記録を削除するには、**[その他 ...]** をクリックし、**[患者の削除 **] を選択してください。
- DTX Studio Coreに保存されている患者記録をオフラインでも利用できるようにするには、**[その他 ...]** をクリックし、**[オフライン利用可能]**を有効にしてください。
- 2つの患者記録をマージするには、**[その他 ...]** をクリックし、**[患者のマージ **] を選択します。

通知領域（[ページ15](#)を参照）には、アップロードされている患者記録または同期されている患者記録が表示されます。

プライバシーオプションの管理

患者のプライバシーを確保するには、次の手順に従って、患者リストに患者のイニシャルのみを表示するか、患者リストを完全に非表示にしてください。

1. 患者リストで、 をクリックします。
2. イニシャルのみを表示するには**[プライバシーモード]**を選択し、患者リストを完全に非表示にするには**[患者リストを非表示]**を選択します。

注記

患者リストを再度表示するには、サイドバーの **>>** をクリックしてください。

プライバシーモードは、DTX Studio Clinicを再起動した場合でも有効のままです。プライバシーモードをオフにするには、もう一度  をクリックし、**[プライバシーモード]**をオフにしてください。

患者記録の検索とソート

患者記録を検索するには、患者リストをソートするか、検索機能を使用してください。

患者リストのソート

1. [患者]リストの見出しの横にあるドロップダウン矢印をクリックします。
2. [最終作成日]、[最終変更日]、または[最終キャプチャ日]を選択します。
3. もう一度ドロップダウンリストをクリックして閉じます。

患者記録の検索

1. 患者リストで、 をクリックします。
2. [患者名]、[生年月日]、[患者ID]、[PMS ID]、または[オーダーまたは治療ID番号]を選択して検索します。
3. 選択した検索オプション（一部）を[患者検索]フィールド  に入力します。
4. 検索ボックスにテキストを入力すると、患者リストが自動的にフィルタリングされます。

検索条件を削除するには、検索フィールドで  をクリックしてください。

患者記録のエクスポート

患者記録をエクスポートして、診断および画像データを別のDTX Studio Clinicユーザーと手動で共有することができます。また、エクスポートした患者記録は、DTX Studio Goから利用可能な無料版のDTX Studio Clinicで表示できます。詳細は[ページ26](#)を参照してください。

注記

ソフトウェアからレポートまたは患者データを抽出する場合に、匿名化されていない患者データが、患者の同意なしに誤った目的で使用される可能性があることを理解しておくことが重要です。

データの管理

データのインポート

他社製デバイスからの画像のインポート

他社製カメラデバイスまたは他社製（CB）CTデバイスから画像を追加するには、新しい画像が検出されることになる直接フォルダを設定しておいてください（[ページ18](#)ページを参照）。

1. 患者リストで患者記録を選択するか、DTX Studio Clinicで患者記録を開きます。
2. **[キャプチャ **]をクリックします。
3. 直接フォルダの名前にカーソルを合わせ、**[選択]**をクリックします。
 - 2D画像の場合は、インポートする画像を選択します。**[終了]**をクリックしてください。
 - 3D（CB）CTデバイスの場合は、インポートする3Dデータを選択します。**[インポート]**をクリックします。

ドラッグアンドドロップによる画像のインポート

1. 互換性のある画像またはファイルの種類またはデータが混合したフォルダ全体をファイルエクスプローラからDTX Studio Home患者記録またはClinicモジュールにドラッグアンドドロップします。
2. **[データを選択]**ウィンドウで、追加しない画像の選択を解除します。色の付いた枠線のあるデータが追加されます。
3. 必要に応じて、画像の上にカーソルを置いて...をクリックし、画像のモダリティを選択するか、取得日を編集してモダリティや取得日を変更します。
4. **[インポート]**をクリックします。
5. 画像が患者記録に追加されます。

Clinicモジュールでの画像のインポート

1. Clinicモジュールで、をクリックして患者メニューを開きます。
2. **[インポート **]をクリックし、以下のオプションのいずれかを選択します。

3D X線

1. **[DICOMファイルのインポート]**をクリックします。
2. DICOM画像ファイルの場所を参照して、そのフォルダを選択します。
3. **[インポート]**をクリックします。
4. DICOMファイルが読み込まれます。右側のスライダーを使用して、スライス全体をスクロールし、DICOM画像を確認します。
5. **[終了]**をクリックします。
6. MagicAssist™が有効になっている場合（デフォルトで有効）、AI検出プロセスが開始され、（CB）CTデータが自動的にセットアップされます。
 - **[MagicAssistをスキップ]**をクリックして、3D X線を手動で設定します。
 - 3D X線の向きは、患者の方向ウィザードによって最適化できます。
 - OPG曲線アクション（[ページ47](#)を参照）を実行すると、3Dパノラマを調整できます。

口腔内スキャン

1. 口腔内スキャンモデルを選択し、[インポート]をクリックします。
2. インポートするデータを選択します。緑色の枠線のあるデータが追加されます。必要であれば、モデルタイプや取得日を調整します。
3. [インポート]をクリックします。

口腔内スキャンの向きを調整するには、[口腔内スキャンの向き 

口腔内スキャンを3D X線データと合成するには、[3D X線データとの合成 

フェイススキャン

1. インポートするフェイススキャンを選択し、[開く]をクリックします。
2. 必要に応じて、[明るさ]と[コントラスト]を調整します。
3. [終了]をクリックします。

3D X線に対してフェイススキャンをアライメントするには、[フェイススキャン]メニューバーで、[フェイススキャンを3D X線にアライメント 

フェイススキャンの位置を調整するには、スマートパネルの[調整 

2D画像。

1. 画像を選択し（複数可）、[インポート]をクリックします。
2. 追加する画像を選択します。緑色の枠線のあるタイルが追加されます。
3. [インポート]をクリックします。
 - 2D画像をインポートまたは取得すると、レベルとウィンドウの値が自動的に設定されます。これを無効にするには、[“レベルとウィンドウの値における自動設定の無効化ページ16”](#)を参照してください。
 - デフォルトでは、MagicAssistの自動検出が有効になっています。これは、DTX Studio Home [MagicAssist](#)の設定で無効にすることができます。

クリップボードからのインポート

1. コンピュータ上の画像をコピーして、クリップボードに追加します。
2. Clinicモジュールで、 をクリックして患者メニューを開きます。
3. [インポート - 4. インポートした画像をチェックします。別のモダリティに変更するには、... をクリックし別のモダリティを選択します。
- 5. [インポート]をクリックします。

3Shape Dental Desktopソフトウェアからのインポート

3Shape TRIOS口腔内スキャナーで取得したスキャンをインポートするには、最初にDTX Studio Homeで患者記録を作成する必要があります。

注記

3Shape TRIOS口腔内スキャナーデバイスの統合方法については、『DTX Studio Coreクイックガイド』を参照してください。

1. DTX Studio Homeで新しい患者記録を作成します。3Shapeデータが確実にマージされるようにするには、次の手順に従ってください。
 - 3Shape Dental Desktopの既存の患者記録とまったく同じ名、姓、生年月日を使用します。
 - 患者名の大文字と小文字が正しく表記されていることを確認します。名前の大文字と小文字は区別されます。

注記

以前にインポートした患者記録は再インポートできません。3Shape Dental Desktopで患者記録を複製し、複製した患者記録を代わりにインポートしてください。

DTX Studio Clinicの患者記録IDは、3Shapeと交換されません。リンクは、名、姓、生年月日が同じであることをユーザーが確認したうえで作成されます。

2. [患者 

手術計画のインポート

1. [患者 GMT 99202 – ja – 2025-10-07 – DTX Studio™ Clinic /バージョン4.7 – 取扱説明書 – © Copyright 2025. All rights reserved.

データの選択

患者画像の選択

患者記録の画像またはファイルを選択するには：

1. [患者 

クイックメニューが表示され、以下の操作が可能になります：

- 選択した画像をGoShareで共有 
- 選択された画像をエクスポート 
- 選択した画像の取得日を調整 
- 患者記録から選択した画像を削除 

このメニューの上では、選択を[クリア]できます。

データの共有

DTX Studio Goを介した患者データの共有 (GoShare経由)

患者データはDTX Studio Goを介して歯科医院と共有できます。患者データを共有すると、追加の[GoShare]タブに概要が表示されます。

1. [患者 

または、パートナータイルの1つをクリックします。これらのパートナータイルを管理するには、[編集]をクリックしてタイルに表示する接続を選択し、[保存]をクリックします。

4. 目的のオプションを選択します。
5. [続ける]をクリックします。
6. WebブラウザでDTX Studio Goが開き、作成したGoShare™症例が表示されます。一方、データはバックグラウンドでアップロードされます。
 - [処方箋]カードのテキストフィールドに備考を追加します。
 - 処方箋テンプレートを作成するには、[簡単な備考を挿入]をクリックして[構成]を選択します。[簡単な備考を追加]をクリックします。タイトルを追加し、カスタムテキストを入力して、[保存]をクリックします。[閉じる]をクリックします。

- デフォルトの処方画像を変更するか、注釈を追加するには、処方画像にポインタを合わせて[[処方箋の編集](#)]を選択します。別の画像を選択するには、[[画像の変更](#)]をクリックします。
 - 患者情報を編集するには、右上隅にある  をクリックします。
 - 必要に応じて、(CB) CT画像、臨床写真、口腔内画像、パノラマ画像、レポートなどの詳細情報または追加ファイルを提供します。
7. [[共有の開始](#)]をクリックします。
 8. 患者データを共有するための接続を選択します。[[接続で共有](#)]フィールドで既存の接続を検索または選択してください。あるいは電子メールアドレスを入力してください。
 9. [[送信](#)]をクリックします。受信アカウントは電子メールで通知されます。
 10. 共有された症例が患者記録の[GoShare](#)の概要に追加されます。[[症例の表示](#)]をクリックし、共有された症例をDTX Studio Goで開きます。

3D症例検討の共有

1. Clinicモジュールで、 をクリックして患者メニューを開きます。
2. [[共有](#) ]をクリックし、[[3D症例検討](#)]を選択します。
3. 以下のように目的のオプションを選択します。
 - [[3Dデータ \(DICOM\) を含める](#)]：お住まいの国で法律上必要な場合は、DICOMの生データを含めます。
 - [[インプラント治療計画を含める](#)]：インプラントの詳細情報を追加します。
 - [[患者の匿名化](#)]：患者名、生年月日、患者IDを含めません。
4. [[共有](#)]をクリックします。
5. 3D症例プレゼンテーションがDTX Studio Goにアップロードされ、症例に追加されます。
6. DTX Studio Goでプロセスを完了し、要求された情報を提供します。
7. 患者はオンラインで3D症例プレゼンテーションにアクセスできます。
8. 3D症例プレゼンテーションは、患者記録の患者データに追加されます。

2D画像を電子メールで共有するか、他社製アプリケーションに転送する

1. ワークスペースで展開された2D画像を右クリックし、[[画像をコピー](#)]を選択します。または、ビューアの左上隅にある  または  をクリックし、[[画像をコピー](#)]を選択します。
2. 電子メールクライアントまたは他社製アプリケーションを開き、関連する場所を右クリックし、[[貼り付け](#)]を選択します。

データのエクスポート

患者記録のエクスポート

1. 患者リストで患者記録を選択します。
2. [その他 ...] をクリックします。
3. [患者のエクスポート - 4. 必要に応じて、エクスポートする診断を選択します。
- 5. 目的のオプションを選択します。
- 6. [参照] をクリックしてデータのエクスポート先を選択し、[フォルダの選択] をクリックします。
- 7. [エクスポート] をクリックします。

患者データのエクスポート

1. データのエクスポート操作に進みます。
 - DTX Studio Homeでアクションウィンドウの[その他 ...] をクリックし、[データのエクスポート] を選択します。
 - Clinicモジュールで、[エクスポート 
2. エクスポートする画像を選択します。
3. [参照] をクリックし、目的のエクスポート先に移動します。
4. [フォルダの選択] をクリックします。
5. エクスポートモード、患者の匿名化、メタデータ、画像ファイル形式を選択します。
6. [エクスポート] をクリックします。

インプラント計画のX-Guideへのエクスポート

DTX Studio Clinicで完了したインプラント計画は、X-Guide™にエクスポートできます。

1. 患者リストで患者記録を選択します。
2. [その他 ...] をクリックします。
3. [X-Guideにエクスポート - 4. 必要に応じて、エクスポートするインプラント計画を選択します。
- 5. 目的のオプションを選択します。
- 6. [参照] をクリックしてデータのエクスポート先を選択し、[フォルダの選択] をクリックします。
- 7. [エクスポート] をクリックします。

スキヤンのリクエスト

スキヤンリクエストを処理したり、複数のスキヤンプロトコルを使用してスキヤンワークフローを開始（[ページ30](#)を参照）したりするには、DTX Studio Coreとの接続を確立する必要があります（[ページ17](#)を参照）。

スキヤンのスケジュール

患者のスキヤンをリクエストするには、次の手順に従ってください。

1. 患者リストで患者記録を選択します。
2. [\[スキヤンリクエスト\]](#)をクリックします。
3. 必要に応じて、複数のスキヤンプロトコルを使用してスキヤンワークフローを開始します（[ページ30](#)を参照）。
4. デバイスのアイコンにカーソルを合わせて、[\[選択\]](#)をクリックします。
5. スキヤンリクエストフォームに適切な情報を入力します。

注記

選択したモダリティまたはデバイスに応じて、フォームは異なります。

- 必要に応じて、[\[スキヤン日\]](#)と[\[リクエスト元の歯科医\]](#)を変更します。
 - 画像取得デバイスが複数のモダリティに対応している場合は、必要なモダリティを[\[3D\]](#)、[\[CEPH\]](#)（セファログラム）、[\[OPG\]](#)（PAN）、[\[IOXRAY\]](#)（2D口腔内スキヤン）、[\[IOS\]](#)（3D口腔内スキヤン）、[\[IOCAM\]](#)（口腔内写真）から選択します。必要に応じて、画像取得プログラムを選択します。
 - 歯式チャートで、スキヤンする領域を選択します。
 - 上顎洞領域をスキヤンする必要がある場合は、[\[上顎洞\]](#)を選択します。
 - 必要に応じて、画像取得の[解像度](#)を選択します。
 - 選択したデバイスが口腔内デバイスである場合は、[\[テンプレート\]](#)を選択し、[\[画像取得プログラム\]](#)を指定します。
 - 必要に応じて、オペレーターのために[\[リクエストの備考\]](#)を追加します。
6. [\[スキヤンリクエストを作成\]](#)をクリックします。スキヤンリクエストが追加されます。

スキヤンリクエストの検索とソート

スキヤンリクエストリストのソート

1. サイドバーで、[\[スキヤンリクエスト\]](#)をクリックします。
2. [\[スキヤンリクエスト\]](#)リストの見出しの横にあるドロップダウン矢印をクリックします。
3. ソート項目として[\[予定日\]](#)または[\[作成日\]](#)を選択します。

スキヤンリクエストの検索

1. [\[スキヤンリクエストの検索\]](#)フィールド  に予定日または患者名（一部でも可）を入力します。
2. 検索ボックスにテキストを入力すると、スキヤンリクエストリストが自動的にフィルタリングされます。検索結果が、予定日に基づいてソートされます。

検索条件を削除するには、検索フィールドでをクリックしてください。

スキャンリクエストの管理

スキャンリクエストを編集、削除したり、完了済みとしてマークしたりするには、スキャンリクエストを選択し、...をクリックしてください。対応するアクションを選択してください。

スキャンワークフロー

QuickPrescribe機能を使用すると、定義済みスキャンリクエストの特定のセットを使用して、さまざまなモダリティからの複数のスキャンで構成されるスキャンワークフローを作成できます。これらのスキャンワークフローは、すべてのワークステーションで使用できます。

まずDTX Studio Coreでスキャンワークフローを定義してから、スキャンのスケジュールキャプチャウィザードで適用してください。

スキャンワークフローの定義

1. 画面下部（Macを使用している場合は画面上部）の通知領域にある ⓘ アイコンをクリックします。
2. [QuickPrescribe]をクリックします。スキャンワークフローをまだセットアップしていない場合は、[今すぐ始める]をクリックします。
3. DTX Studio Coreでスキャンワークフローの設定を完了します。
注記
 詳細については、DTX Studio Coreで、左下隅にある[ヘルプ]をクリックしてください。
4. スキャンリクエストまたはキャプチャウィザードでスキャンワークフローを選択します。

スキャンワークフローの適用

DTX Studio Coreで定義したスキャンワークフローをスキャンリクエストウィザードまたはキャプチャウィザードで選択できます。

1. 患者リストで患者記録を選択します。
2. [スキャンリクエスト] または [キャプチャ] をクリックします。
3. [QuickPrescribe]をクリックします。
注記
 結果を絞り込むには、検索フィールドにスキャンワークフロー（一部でも可）を入力してください。
 設定されているすべてのモダリティとパラメータを表示するには、リスト内のスキャンワークフロー名にカーソルを合わせてください。[詳細]をクリックしてください。
4. リスト内のスキャンワークフロー名にカーソルを合わせ、[スキャンリクエストを作成 (#)] をクリックします。数字は、選択したスキャンワークフローで作成されたスキャンリクエストの数を示します。
5. 歯式チャートで、スキャンする診断領域を選択します。
6. [スキャンリクエストを作成] をクリックします。

スキヤンの実行

スキヤンリクエストを最初に作成するかどうかにかかわらず、患者の診断前、診断中、または診断後にスキヤンを取得できます。

より正確にスキヤンするために、ソフトウェアの指示と技術的な通知に従うことを強くお勧めします。

予定されているスキヤンの実行

スキヤンリクエストに対してスキヤンを実行するには、次の手順に従ってください。

1. スキヤンリクエストカードで、[開始]をクリックします。
2. 必要に応じて、デバイスのアイコンにカーソルを合わせて、[選択]をクリックします。
3. スキヤンモジュールまたは他社製スキヤンアプリケーションが開きます。
4. 指示に従います。
5. アクションを終了するには[終了]をクリックし、Clinicモジュールで患者記録を開くには[診断を開く]をクリックします。

即時スキヤンの実行

1. DTX Studio Homeで患者記録を選択するか、Clinicモジュールで患者記録を開きます。
2. [キャプチャ - 3. デバイスまたは直接フォルダのタイルにカーソルを合わせて、[選択]をクリックします。

注記

口腔内画像は正しい位置で自動的に回転します。この機能を無効にするには、[ページ16](#)を参照してください。

2D画像をインポートまたは取得すると、レベルとウィンドウの値が自動的に設定されます。この機能を無効にするには、[ページ16](#)を参照してください。

キャプチャウィザードでは、センサーサイズの異なる複数のセンサーをプラグインまたはプラグアウトして使用してください。使用されているセンサーは右上隅に表示されます*。

複数のセンサーがプラグインされている場合は、+記号が表示されます*。接続されアクティブになっているセンサーはすべて、スキヤンを取得する準備ができています。X線が画像取得のトリガとなります。

* DTX Studio Clinicで直接サポートされているセンサーとPSPの場合。TWAINを介して接続するデバイスの場合、この機能は制限されます。

口腔内センサーまたはIPデバイスによるガイドあり取得

テンプレートを使用して口腔内画像を取得するには、次の手順に従ってください。

1. 即時スキヤンを開始します。
2. [テンプレート]タブをクリックし、目的のテンプレートを選択します。
3. 取得するレイアウトと画像を選択します。
4. [開始]をクリックします。
5. スキヤンを実行するデバイスに移動します。
6. プレビューページで、取得した画像をチェックします。プレビュー画像にカーソルを合わせると、[回転]、[反転]、[イメージフィルタ]の表示/非表示、[再度キャプチャ]のオプションが表示されます。必要に応じて変更を加えてください。
7. [終了]をクリックしてください。

口腔内センサーまたはIPスキャナデバイスによるガイドなし取得

テンプレートを使用せずに口腔内画像を取得するには、次の手順に従ってください。

1. 即時スキャンを開始します。
2. **[ガイドなし]**タブを選択します。
3. スキャンを実行するデバイスに移動します。

MagicAssist自動検出  をアクティブにしている場合は、以下の手順を参照してください。

- 右下隅に、MagicAssist自動検出アイコンが表示されます。
- キャプチャウィザードで、歯が自動的に検出されます。これらの歯には青色のマークが付いています。MagicAssistラベルを削除するには、歯をクリックしてください。
- 口腔内画像は、FMXチャートに自動的にマッピングされます。
- 必要に応じて、歯式チャートに未確認の画像を手動で示してください。

注記

デフォルトでは、MagicAssistの自動検出が有効になっています。これは、設定で無効にすることができます。

4. 必要に応じて、プレビューページで取得した画像をチェックし、歯の範囲を割り当てます。
 - 歯の範囲で指定した歯を削除する場合は、**[選択の消去]**をクリックしてください。
 - 必要に応じて変更を加えてください。プレビュー画像にカーソルを合わせると、**[回転]**、**[反転]**、**[イメージフィルタ]**の表示/非表示、**[再度キャプチャ]**のオプションが表示されます。
 - 必要に応じて、取得した画像を回転または反転してください。

アクション

アイコン

ショートカット

画像を反時計回りに回転する



[Alt+ ]または[R]

画像を時計回りに回転する



[Alt+ ]または[Shift+R]

口腔内画像または臨床写真を水平方向に反転する



[U]

口腔内画像または臨床写真を垂直方向に反転する



[Shift+U]

口腔内カメラによるガイドあり画像取得

テンプレートを使用して口腔内カメラ画像を取得するには、次の手順に従ってください。

1. 即時スキャンを開始します。
2. **[ガイドあり]**タブを表示したままにします。
3. 口腔内カメラの場合は、取得する歯牙を選択します。
4. デバイスのボタンを押すか（利用可能な場合）、**[画像キャプチャ]**をクリックします。
5. 別の歯牙を選択して口腔内画像を撮影するには、**←**または**→**のキーボードボタンを使用します。または、歯の範囲で歯牙をクリックするか、**[前へ]**または**[次へ]**をクリックします。

注記

1本の歯につき1枚の画像のみが必要な場合は、**[キャプチャ後に次の歯牙に進む]**を有効にし、次の歯に自動的に進むようにしてください。

6. **[終了]**をクリックします。

口腔内カメラによるガイドなし画像取得

テンプレートを使用せずに口腔内カメラ画像を取得するには、次の手順に従ってください。

1. 即時スキャンを開始します。
2. **[ガイドなし]**タブをクリックします。
3. デバイスのボタンを押すか（利用可能な場合）、**[画像キャプチャ]**をクリックします。
4. 取得した画像を歯牙に割り当てるには、下部にある画像のサムネイルをクリックして、歯の範囲で対応する歯牙を選択します。

注記

画像を選択し、歯牙をクリックして他の歯牙にドラッグすることにより、複数の歯牙に画像を割り当てることができます。

5. **[終了]**をクリックしてください。

口腔内スキャナー

3Shape TRIOS®スキャナー

1. **[キャプチャ]**  をクリックします。
2. 3Shape口腔内スキャナータイルにカーソルを合わせて、**[選択]**をクリックします。
3. 3Shape Dental Desktopアプリケーションでスキャンを開始します。

注記

3Shape TRIOS口腔内スキャナーデバイスの統合方法については、『DTX Studio Coreクイックガイド』を参照してください。

4. スキャンプロセスを完了します。
5. 画像は、[患者詳細]パネルの**[患者データ]**タブに追加されます。
 - 完了したスキャンリクエストには、チェックマークが付きます。
 - **[診断を開く]**をクリックして、DTX Studio Clinicで患者記録を開きます。

DEXISスキュナー

スキュンモジュール*では、DEXIS IS ScanFlowをDTX Studio Clinicと統合することで、サポートされているDEXIS™口腔内スキュナーを使用できます。

口腔内のスキュンデータの取得

1. 患者リストで患者記録を選択します。
2. [キャプチャ - 3. 口腔内スキュナーのアイコンにカーソルを合わせて、[選択]をクリックします。
- 4. スキュンモジュール*の指示に従います。
- 5. 処理済みデータが患者記録に追加されます。
- 6. ScanFlowを使用して複数の咬合モデルをキャプチャした場合は、DTX Studio Clinicで上顎または下顎を右クリックし、[咬合]をクリックして選択を行います。

スキュン症例を再度開く

ローカルでキャプチャされた口腔内スキュンデータは、スキュンモジュール*で再度開くことができます。

注記

これは、スキュンデータの取得に使用したコンピュータでのみ可能です。

スキュンモジュール*を再度開いてスキュンを編集するには、トリミングや測定などを行ってください。

1. 患者記録で、口腔内スキュンタイルをクリックします。
2. [ScanFlowで編集]をクリックします。

* Windowsコンピュータのみ、および口腔内スキュンデータの取得に使用したコンピュータで、スキュンの生データが含まれるフォルダが利用可能な場合。適切なライセンスの種類またはPlus+機能（DEXIS IS ScanFlowの統合）へのサブスクリプションが必要です。DEXIS IS ScanFlowの追加のソフトウェアモジュールをインストールする必要があります。

DEXIS IS ScanFlowスキュンの再開

ローカルでキャプチャされた口腔内スキュンデータは、ScanFlowで再度開いて、スキュンの編集、追加のスキュンの取得、トリミング、測定などを行うことができます。

1. 患者記録で、DEXIS ISデバイスの口腔内スキュンタイルを選択します。
2. ... をクリックし、[ScanFlowで再開]を選択します。

高度なScanFlow機能の有効化

高度なScanFlow機能を有効にすると、DEXIS IS 3800をIO CAM*モードで使用したり、DEXISデバイスの生データをインポートしたりできます。

1. DTX Studio Homeで[メニュー - 2. [設定]をクリックし、[DEXIS IS]を選択します。
- 3. [ScanFlowをスキュンモードで起動する]を無効にします。

* IO CAMは、プレミアムライセンスとDEXIS IS 3800デバイスがある場合にのみ使用でき、スキュンの編集、追加のスキュンの取得、トリミング、測定などを行うことができます。

診断または治療計画

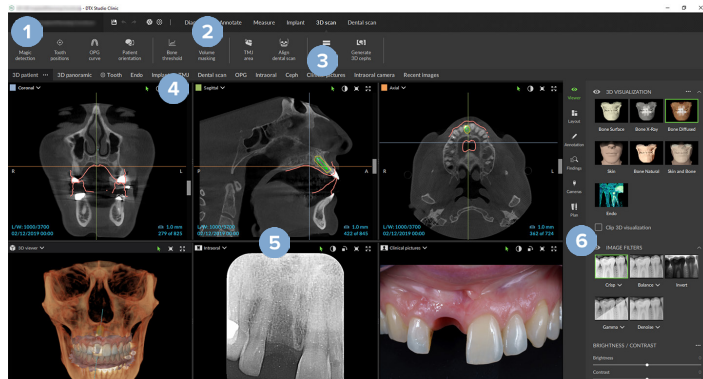
DTX Studio Clinicで患者記録を開いて、患者データを表示してチェックしたり、患者記録に所見や計測値を追加したりすることができます。

DTX Studio Homeの[患者]リストで患者記録を選択し、[患者を開く]をクリックしてください。あるいは、患者リストで患者名をダブルクリックするか、[O]キーを押してください。患者記録またはClinicモジュールを閉じるには、患者メニューの[患者を閉じる]をクリックします。

この機能はDTX Studio Clinicのライセンスの種類によって異なります。

ライセンスの種類	機能	画像取得
DTX Studio Clinic Pro または Pro IOS	2Dおよび3D	2Dおよび3D
DTX Studio Clinic Select または Starter	2Dおよび選択された3D表示機能	2Dのみ

Clinicモジュールの解説



- 1 患者メニュー
- 2 メニューバー
- 3 ツールバー
- 4 ワークスペースバー
- 5 ワークスペース - SmartLayout™
- 6 スマートパネル

患者診断データ

Clinicでモジュール患者メニューを開くには、左上隅の☰をクリックしてください。

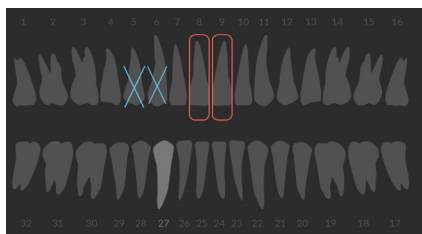
診断の管理

患者メニュー ☰ では、以下のような操作ができます。

- 新規診断の作成。
- 既存の診断を開く。
- 開いている診断の保存。

歯式チャート

患者メニューの歯式チャートには、開いている診断内における歯のステータスの概要が表示されます。



注記

患者が8歳未満の場合、乳歯の歯式チャートが表示されます。患者が成長したときに大人の歯式チャートに移動するには、歯牙を手動で変更する必要があることに留意してください。

歯式チャートの編集

歯式チャートを編集するには、歯式チャートで歯をクリックし、次のいずれかを選択してください。

アイコン	アクション	説明
	交換	乳歯と永久歯を交換します。このオプションは、乳歯に対応する永久歯がある場合に使用できます。歯牙を交換した場合、乳歯のすべての所見が削除され、永久歯が健康な歯牙に設定されます。 注記 患者が8歳未満の場合、乳歯列が表示されます。
	欠損（空隙あり）	この歯は欠損しており、この場所に空隙があります。
	埋伏	この歯は埋伏歯になります（親知らずでよく使用されます）。
	挿入	歯牙を挿入します（乳歯列における永久大臼歯など）。
	欠損（空隙なし）	歯数不足を示します。

患者データ

歯式チャートの下に、開いた患者記録のスキャンおよび画像がデータタイプごとに表示され、取得日に基づいてソートされます。最終的なインプラント計画もここに表示されます。

開いた診断に患者データを含めるか除外するかを選択するには、タイルをクリックしてください。緑色の枠線のある画像が含まれます。



3D X線



臨床写真



OPG (パノラマ画像)



スクリーンショット



口腔内画像



フェイススキャン



セファログラム



口腔内スキャン

歯式チャートの上には、以下のオプションがあります。

- **[キャプチャ]** ：データを直接取得します。あるいは、メニューバーで をクリックします。
- **[インポート]** ：開いている診断にデータをインポートします。
- **[エクスポート]** ：データまたは患者診断レポートをエクスポートします。
- **[共有]** ：3D症例プレゼンテーションを共有します。

3Dおよび口腔内スキャンビューアの背景の設定

1. **[環境設定]**ウィンドウで、**[3Dビューア]**をクリックします。
2. **[無地]**を選択します。
3. ドロップダウンメニューで色を選択するか、**[カスタム]**を選択して他の色を選択します。
4. **[OK]**をクリックします。

デフォルトの画像ズームレベルの設定

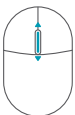
表示される画像のデフォルトのズームレベルを設定するには、次の手順に従ってください。

1. **[環境設定]**ウィンドウで、**[全般]**をクリックします。
2. **[デフォルト画像サイズ]**リストで、デフォルトの倍率を選択します。
3. **[OK]**をクリックします。

ビューアの操作

一般的なビューア操作にアクセスするには、ビューア内の任意の場所を右クリックしてください。オブジェクト（インプラント、注釈、フォーカスエリアなど）を右クリックすると、その操作が表示されます。

ビューアを操作するにはマウスを使用してください。デフォルトの3DビューアコントロールをDTX Studio ImplantまたはInvivoのコントロールに変更するには、[\[3Dビューア\]](#)環境設定メニューに移動してください。

アクション	3Dビューア	その他のビューアタイプ
 右クリック	オブジェクトとビューアのコンテキストメニュー	オブジェクトとビューアのコンテキストメニュー
 右クリックしながらドラッグ	3Dモデルを回転させる	明るさ/コントラスト（デフォルト）または拡大と縮小
 [Ctrl]を押したままクリックしてドラッグ、または [Cmd]を押したままクリックしながらドラッグ	パン	パン
 [Shift]を押したままクリックしてドラッグ	拡大と縮小	拡大と縮小
 ホイールボタンをスクロール	拡大と縮小	リスライスのビューアのみ：スライスをスクロール

ワークスペース

ワークスペースバーからワークスペースを選択するか、利用可能な場合は、対応するショートカットキーを使用してください（[ページ19](#)ページの「学習リソースとサポートへの問い合わせ」を参照）。

注記

画像またはデータが診断に追加されているワークスペースのみが表示されます。

ワークスペース	説明	ショート カットキー
3D患者	読み込んだモデルをすべての面からチェックするには、マウス操作（ページ38ページを参照）とキーボードショートカットを使用してください。または、以下の標準の臨床ビューアイコンを使用してください。  正面  背面  左側面  右側面  頭蓋方向  顎方向 口腔内モデルのワークスペースに移動するには、もう一度[F2]キーを押してください（利用可能な場合）。	F2
3Dパノラマ	3DパノラマX線画像は、ロードした3D X線データに基づいて生成されます。	F3
口腔内モデル	口腔内スキャンとフェイススキャンをチェックして比較します。3D患者ワークスペースに移動するには、もう一度[F2]キーを押してください（利用可能な場合）。 注記 別のワークスペースに表示されるのは、最新の選択された口腔内スキャンまたはフェイススキャンだけです。	F2
歯	特定の歯に移動し、スマートパネルの[レイアウト ] タブを使用してすべての2Dデータと3Dデータを比較します。選択した歯に注釈を付けます（ページ43を参照）。 垂直ビューアの垂直スライダーを使用すると、歯の回転軸を中心としてスライスが回転します。状況に応じて、次のスライスヒントがリスライスの方向を示します。 – 口腔側/頬側（O/B） – 近心/遠心（M/D） – 左/右（L/R） 回転軸を調整するには、ページ44を参照してください。 エンドワークスペースに移動するには、もう一度[F4]キーを押してください（利用可能な場合）。	F4

ワークスペース 説明

ショート
カットキー

インプラント	インプラントを計画し、チェックします（ページ52ページを参照）。 – リスライスをクリックしてドラッグするか、スクロールして希望する位置に移動します。 – 3D（CB）CTデータの3Dリスライスビューアから、オブジェクト、先端またはショルダーポイントをクリックしてドラッグすることで、インプラントまたはアンカーピンを平行移動または回転させることができます。 サージカルテンプレートを作成します（ページ54を参照）。	F9
エンド	歯内診断と歯内療法の対象となる歯牙に焦点を合わせます。歯髄を表示するには、スマートパネルの[ビューア]タブにある[エンド ] 3D表示をクリックしてください。 注記 このワークスペースは、3D X線データがロードされ、歯牙の注釈が定義されている場合に使用できます。 – 3Dビューアは、対象の歯牙に焦点を合わせています。 – 歯牙の断面ビューアは、歯牙の水平方向におけるいくつかの断面を表示する断面ビューアです。 – 歯根形態を定義すると（ページ45ページを参照）、歯根管が表示されます。 歯牙のワークスペースに移動するには、もう一度[F4]キーを押してください（利用可能な場合）。	F4
TMJ	顎頭と顎関節の領域をチェックします。	N/A
口腔内RX	レイアウト上の口腔内画像をチェックします（例：全顎X線写真）。 – 画像を展開したり画像フィルタやSmartLayoutを使用するには、画像をダブルクリックしてください（ページ42を参照）。 – 別の画像に切り替えるには、スマートパネルの[レイアウト ] タブの概要にあるサムネイルをクリックしてください。あるいは、キーボード上の矢印（   ）または画面上の矢印（）を使用してください。 – 最初のレイアウトの概要に戻るには、画像をもう一度ダブルクリックするか、[Esc]キーを押すか、 をクリックしてください。 – 複数枚の画像は、同じ1つのプレースホルダーで重ねることができます。すべての画像を表示するには、 をクリックしてください。これらの画像を比較するには、 をクリックしてください。 – 別のプレースホルダーの配置を選択するには、ワークスペースの左上隅にある  をクリックします。[日付別に表示]が選択されていることを確認してください。次に[すべてのテンプレート ]を選択し、テンプレートオプションの1つを選択します。	F6
パノラマ	2DパノラマX線画像（パノラマ）またはマルチレイヤーパノラマ画像を表示します。	F5

ワークスペース 説明

ショート
カットキー

セファログラム	正面や側面のセファログラムを表示します。[3Dセファログラムを生成] ツールを使用して、ロードした3D X線データに基づいてセファログラムを計算したり、2Dセファログラムをインポートしたりすることができます。	F7
臨床写真	患者の臨床写真を表示します。 - 画像を展開したり画像フィルタやSmartLayoutを使用するには、画像をダブルクリックしてください（ページ42を参照）。 - 別の画像に切り替えるには、スマートパネルの[レイアウト] タブのミニマップ概要にあるサムネイルをクリックしてください。あるいは、キーボード上の矢印（←↑↓→）または画面上の矢印（<>）を使用してください。 - 最初のレイアウトの概要に戻るには、画像をもう一度ダブルクリックするか、[Esc]キーを押すか、← をクリックしてください。 - 複数枚の画像は、同じ1つのプレースホルダーで重ねることができます。すべての画像を表示するには、☰ をクリックしてください。これらの画像を比較するには、> < をクリックしてください。 - 別のプレースホルダーの配置（歯科矯正、カメラ、または臨床写真）を選択するには、ワークスペースの左上隅にある [1] をクリックします。[日付別に表示]が選択されていることを確認してください。次に[すべてのテンプレート] を選択し、テンプレートオプションの1つを選択します。 変更する画像をダブルクリックします。臨床写真を反転、回転、トリミング、または傾き補正するには、該当する写真を右クリックして対応する操作を選択してください。または、ワークスペースの左上隅にある [2] をクリックしてください。	F8
口腔内写真	臨床写真に似ていますが、口腔内カメラ写真が含まれています。 歯式チャート上で歯牙を選択し、歯牙のワークスペースで画像取得に口腔内カメラを使用すると、取得した画像が選択した歯牙に自動的に割り当てられます。 割り当てられた歯牙の番号が、臨床写真ワークスペースに表示されます。 - 画像を展開したり画像フィルタやSmartLayoutを使用するには、画像をダブルクリックしてください（ページ42を参照）。 - 別の画像に切り替えるには、スマートパネルの[レイアウト] タブの概要にあるサムネイルをクリックしてください。あるいは、キーボード上の矢印（←↑↓→）または画面上の矢印（<>）を使用してください。 - 最初のレイアウトの概要に戻るには、画像をもう一度ダブルクリックするか、[Esc]キーを押すか、← をクリックしてください。 - 複数枚の画像は、同じ1つのプレースホルダーで重ねることができます。すべての画像を表示するには、☰ をクリックしてください。これらの画像を比較するには、> < をクリックしてください。 - 別のプレースホルダーの配置を選択するには、ワークスペースの左上隅にある [3] をクリックします。[日付別に表示]が選択されていることを確認してください。次に[すべてのテンプレート] を選択し、テンプレートオプションの1つを選択します。	N/A

ワークスペース 説明

ショート
カットキー

最近の画像	[最近の画像]ワークスペースには、最近インポートした画像や最近取得した画像がすべて表示されます。デフォルトでは、このワークスペースに過去7日間の画像が表示されます。これを変更するには、DTX Studio Clinicの環境設定に移動してください。	F12
口腔内カメラ	口腔内カメラ取得専用のワークスペース。	F10

ワークスペースのカスタマイズ

1. [環境設定]ウィンドウで、[全般]をクリックします。
2. [デフォルトワークスペース]リストで、Clinicモジュールを開いたときにデフォルトで表示されるワークスペースを選択します。標準設定は[最近のデータ]で、最近インポートした画像や最近取得した画像に関連付けられたワークスペースが表示されます。
3. 必要に応じて、[最近の画像]ワークスペースに表示する画像について、[最近の画像]フィールドの日数を変更します。デフォルト値は7日です。
4. [OK]をクリックします。

SmartFocusで関連する歯の情報をすべて表示

サポートされているビューアでSmartFocus™を有効にするには、スペースバーを押してください。あるいは、上部メニューバーの⊕をクリックしてください。

- 歯にカーソルを合わせると、歯の番号が表示されます。歯のエナメル質、象牙質、歯髄腔は、識別しやすいように異なる色で強調表示されます。
- 歯のワークスペースに移動し、必要に応じてビューアに特定の歯のデータをロードするには、歯牙の領域をクリックしてください。
- SmartFocusが歯牙の範囲外で使用された場合は、作業中のワークスペースは指示された点を中心とします。

SmartLayoutでの表示のカスタマイズ

スマートパネルの[レイアウト]タブを使用してビューアを追加または削除したり、ビューアの比率を変更したりすることで、ワークスペースをカスタマイズできます。

- ワークスペースに別のビューアを追加するには、スマートパネルの[レイアウト]タブで、任意のタイルをクリックしてください。
- ワークスペースからビューアを削除するには、そのタイルを再度クリックしてください。
- ビューアの比率を変更するには、ウィンドウプリッターのいずれかをドラッグしてください。
- ビューアを閉じるには、左上のウィンドウタイトルをクリックしてください。[ビューアを閉じる]を選択してください。あるいは、[Q]キーを押してください。
- モダリティ順または日付順にソートするか、選択した画像が最初に表示されるようにソートするには、[並べ替え基準]ドロップダウンメニューをクリックして、[モダリティ]、[日付]、[最初に選択済み]のいずれかを選択してください。

- ワークスペースのレイアウトを保存するには、ワークスペースのタイトルの横にある ... をクリックし、[ワークスペースのレイアウトの保存]を選択してください。このレイアウトは、新規患者診断のためのデフォルトのレイアウトとして設定されます。ビューアをリセットするには、[ワークスペースのリセット]をクリックしてください。

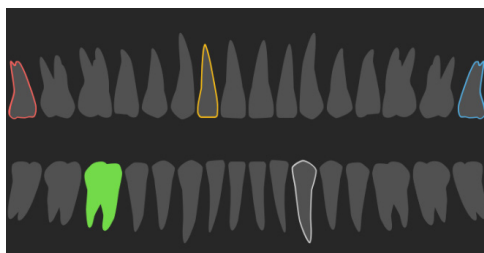
サムネイルバーからの画像の配置

[口腔内RX]ワークスペースと[臨床写真]ワークスペースの下部にあるサムネイルバーには、診断に追加されているもののワークスペースビューアには表示されていない画像が含まれます。

- まだ自動的にソートされていない口腔内画像をソートして配置するには、[ソート ] をクリックします。
- ワークスペースに口腔内画像を手動で追加するには、このサムネイルバーから画像をドラッグし、プレースホルダーの上にドロップします。
- プレースホルダーにすでに画像が含まれている場合、画像は重ねられます。最新の画像が一番上に表示されます。重ねられているすべての画像を表示するには、 をクリックします。

スマートパネル歯式チャート

歯牙のワークスペースとエンドワークスペースでは、歯式チャートは[スマートパネル]タブの上に表示されます。



- データがワークスペースに表示されている有効な歯牙は、緑色で強調表示されます。
- 別の歯牙を選択するには、歯式チャートで歯牙をクリックしてください。
- 歯式チャートの下で、前の歯牙に移動する場合は < をクリックし、次の歯牙に移動する場合は > をクリックしてください。
- 少なくとも1つの所見が追加されている歯牙は、その輪郭が色付きで示されます。色は、所見の治療ステータスによって異なります。

治療ステータス	色	説明
状態	灰色	この所見は重大ではないものの、時間の経過に伴う変化を注意深く観察する必要があります。
治療計画	赤色	治療を必要とする所見です。
経過観察	オレンジ色	初期段階で発見された所見であり、経過観察が必要です。
完了済み	青色	この所見の治療は完了しました。

骨閾値の調整

骨閾値を調整するには、3DビューアのCB（CT）データを右クリックして、[骨閾値]を選択してください。スライダーを使用して希望する閾値を設定してください。

または、スマートパネルの[ビューア ] タブで、[3D表示閾値]スライダーを使用してください。

リスライスの調整

- リスライスを移動するには、リスライスラインをスクロールし、クリックしながらドラッグしてください。または、灰色のスライダーを右側に動かしてください。
- リスライスを回転させるには、リスライスの終端の1つをクリックしながらドラッグしてください。ビューア内でマウスをドラッグして、ビューアの中心点を軸にして画像データを回転させてください。
- リスライス位置が保存されます。
- デフォルトの位置に戻すには、リスライスビューアを右クリックし、[リスライス軸をリセット]を選択してください。

3Dボリュームのクリップ

スマートパネルの[3D患者]、[歯牙]、および[3D検査]ワークスペースの[ビューア ] タブで[3D表示のクリップ]を選択すると、3Dボリュームの一部を非表示にして3Dボリュームの特定の領域をチェックすることができます。

ワークスペースでの歯科用口腔内カメラの使用

以下の手順により、USB歯科用口腔内カメラを[口腔内カメラ]ワークスペース内で直接使用するか、別のワークスペース内から使用して、口腔内画像を取得します。

1. [口腔内カメラ]ワークスペースタブまたは任意のワークスペース内をクリックし、スマートパネルの[カメラ ] タブをクリックします。
2. 必要に応じて、カメラデバイスのアイコンをクリックします。
3. デバイスのボタンを押して、画像を取得します。あるいは、下部にある[画像キャプチャ ] をクリックします。

患者画像の分析

ツールバーには、診断、測定、治療の計画、スキャンデータの編集を行うためのツールがあります。

一部のワークスペースでは、特定のツールを使用できない場合があります。使用できないツールはグレー表示になっています。



警告

測定の精度は、画像データ、使用されるスキャナーのハードウェア、キャリブレーション設定および取得設定によって異なります。測定値の精度が画像の解像度より高くなることはありません。DTX Studio Clinicソフトウェアでは、ユーザーが選択した点を小数点一桁に四捨五入した値が報告されます。

ツールバーのタブの1つをクリックすると、対応するツールに移動します。

診断ツール

-  3Dリスライスビューアのスライスの厚さを設定します。3Dリスライスビューアをクリックして水平方向にドラッグし、X線の厚さを設定してください。右クリックして終了します。

注記

デフォルトのスライスの厚さを設定するには、DTX Studio Homeの設定またはDTX Studio Clinicの環境設定にある[画像設定]タブに移動してください。右上のドロップダウンメニューで、[3Dリスライス]、[3Dパノラマ]、または[歯]を選択します。[リスライスの厚さ]ドロップダウンメニューで目的の厚さを選択してください。

- ① 明るさとコントラストを調整するには、ビューアを次のようにドラッグします。

- 水平方向：コントラストを変更します。
- 垂直方向：明るさを変更します。

注記

明るさとコントラストのツールをグレースケール画像で使用すると、それに応じてレベルとウィンドウの値が更新されます。

- ② 画像の特定の領域を拡大するか（デフォルト設定）、適用されたフィルタと元の画像を比較します。拡大レベルを調整するには、マイナスキーとプラスキー（macOSを使用する場合はShift + プラスキー）を使用してください。デフォルト設定を変更するには、DTX Studio Clinicの環境設定に移動してください。

-  3Dモデルをクリックするときに、ベースになるリスライスをチェックします。

- リスライスは、オーバーレイスライスのエクスプローラウィンドウに表示されます。
- アクティブな画像フィルタとスライスの厚さは、スライスのエクスプローラビューにも適用されます。
- すべてのリスライスを確認するにはスクロールしてください。
- 3Dモデルは、ベースとなるリスライスをチェックしている間も回転可能です。

-  スクリーンショットをキャプチャします。キャプチャしたスクリーンショットは、[臨床写真]ワークスペース、スマートパネルの[レイアウト]タブ、および患者データに追加されます。キャプチャしたスクリーンショットをレポートに追加することもできます（ページ43を参照）。

-  スマートパネルの[所見]タブに所見を追加します。

-  気道を解析します。ランドマークを指定して、関心領域を囲むボックスを作成してください。[終了]をクリックします。気道の容積と最も狭窄している領域が[3D患者]ワークスペースで視覚化されます。

-  下顎管を指定します。最初のアンカーポイントをクリックしてください。次の各アンカーポイントをクリックしてください。右クリックして終了します。

- 下顎管に関する注釈を調整するには、ビューアのアンカーポイントを動かしてください。
- すべてのアンカーポイントは、スマートパネルの[表示]タブに1本の線として表示されます。

-  3D患者ワークスペース（コロナル/サジタル/アキシャル）の任意のリスライスビューアでカスタムのリスライスラインを描画して、（CB）CTデータを詳細にチェックするカスタムのリスライスを作成します。たとえば、根管にマークを付けてチェックしたり、注釈を付けたりします。

- カスタムのリスライスを移動するには、リスライスラインをクリックしながらドラッグしてください。
- カスタムのリスライスを回転させるには、リスライスの終端の1つをクリックしながらドラッグしてください。

-  各根管の根尖に基準点を指定することで、**歯根形態**を定義します。

診断ツール

-  歯科所見が観察される可能性のある2D口腔内X線画像のフォーカスエリアを検出します（[ページ49](#) ページを参照）。
- 検出されたフォーカスエリアを承認し、所見にします。

注釈の付与ツール

-  画像にテキストを追加します。
-  ペンで折れ線を描画します。すべての線は、スマートパネルの[表示 ] タブに1つの注釈として表示されます。
-  鉛筆でフリーフォームの線を描画します。
-  円を描画します。
-  矢印を描画します。
-  上顎/下顎/垂直方向の顎の基準面を追加します。
-  注釈の線の太さを選択します。

測定ツール

-  あるポイントのHU値を測定します。シーンの任意のポイントをクリックしてHU値またはグレー値を測定してください。
-  直線距離を測定します。距離を測定する2つのポイントをクリックしてください。画像のキャリブレーションがまだ済んでいない場合は、[参照値]を入力してください。キャリブレーション測定がシーンに表示され、キャリブレーションオブジェクトがスマートパネルの[表示 ] タブに追加されます。
- インプラントの先端またはショルダーポイントをクリックすると、測定値がそのインプラントにリンクされます。そのインプラントを移動すると、リンクされた測定値が更新されます。
- 測定値（およびその精度）が表示されます。
-  セグメントを測定します。最初のポイントをクリックしてください。次の各ポイントをクリックしてください。右クリックして終了します。
- インプラントの先端またはショルダーポイントをクリックすると、測定値がそのインプラントにリンクされます。そのインプラントを移動すると、リンクされた測定値が更新されます。
-  面積を測定します。
-  角度を測定します。3つのポイントをクリックしてください。

測定ツール

 インプラント間の角度を測定します。

3D X線ツール

 AIを利用したMagicAssistアルゴリズムを使用して、(CB) CTデータと下顎神経に関する注釈を自動的にセットアップします。自動検出されたすべてのポイントは手動で調整できます。
自動検出された属性を含む3D X線データは、右下隅に[自動]ラベルで示されます。

 歯牙の位置を指定します。歯式チャートで、キャリブレーションする歯牙を選択してください。横断面リスライスの正しい位置に歯牙の表示をドラッグしてください。垂直リスライス上で、歯牙の軸を調整してください。

 OPG曲線を調整します。必要に応じて、ポイントや歯牙を指定してください。歯牙がはっきり表示されない場合は、スクロールするか、右側のグレーのスライダーを使用して、歯牙のセットアップを示す平面に横断面リスライスの位置を合わせてください（ほぼ咬合面に収束します）。
必要に応じて、以下のように曲線を調整してください。

- 曲線の形状を調整するには、個々のコントロールポイントをクリックしながらドラッグしてください。
- 新しいコントロールポイントを追加するには、曲線をクリックしてください。
- 完成した曲線を移動するには、周辺領域をクリックしながらドラッグしてください。

 患者モデルの方向を編集します。3D患者モデルの方向は、3Dビューアでモデルを平行移動して回転することによって目的の位置に設定することができます。

1. パンアイコン  または回転アイコン  をクリックするか、[Tab]キーを押して回転モードと平行移動モードを切り替えます。選択したモードは緑色で表示されます。
2. モデルをドラッグし、基準線と位置が正しく合うまで移動します。
3. **[終了]**をクリックします。

 患者モデルの余分な部分を切り取って、クリーンアップします。シーン内の任意のポイントををクリックして、削除する必要があるセクションの周囲の描画を開始してください。確定するには右クリックしてください。

注記

元の患者モデルを復元するには、スマートパネルの[表示 ] タブで、[3D表示]の横にある ... をクリックしてください。[3Dモデルのリセット]を選択します。

 TMJ領域を指定します。このウィザードに示されているように、顎頭の位置を示してください。**[終了]**をクリックします。TMJワークスペースが開きます。左右の顎頭の位置を比較して、顎関節領域をチェックしてください。

 パノラマを生成します。パノラマ（リスライス）ビューは、2D画像として患者データに追加されます。生成された画像が**[3Dパノラマ]**ワークスペースで開きます。

 インポートした3D X線データに基づいて、3Dセファログラムを生成します。

3D X線ツール

 3Dモデルをセグメント化します。

口腔内スキャンツール

 口腔内スキャンを自動的にセットアップします。

 口腔内スキャンの向きを調整します。

 3D X線データ上の口腔内スキャンをアライメントまたは再アライメントします。

 コンピュータ上で歯牙の作成や抜歯を行います。デフォルトでは欠損歯が選択されています。歯牙の作成と抜歯を同時に行うには、既存の歯牙の位置をクリックしてください。コンピュータ上で歯牙の作成か抜歯のいずれかのみを行うには、歯牙を右クリックして[歯牙の作成]または[抜歯]のアクションを選択してください。[次へ]をクリックして、最終結果を確認してください。[終了]をクリックしてください。

注記

元の口腔内スキャンを表示するには、スマートパネルの[表示 ]タブをクリックしてください。変更後の口腔内スキャンを選択し、...をクリックして[元のスキャンモデル]を選択します。もしくは、ワークスペースビューアで口腔内スキャンモデルを右クリックし、[口腔内スキャン]を選択して[元のスキャンモデル]を選択します。

仮想歯牙の位置を調整するには、スマートパネルの[調整 ]タブを使用するか、右クリックメニューで[位置を編集]を選択します。[再計算時に位置をロック]を選択すると、[仮想歯牙を再計算]をクリックしてMagicAssistを再度実行したときに、仮想歯がこの位置に固定されます。

 口腔内モデルワークスペースに現在表示されているすべての顎スキャンと診断スキャンの穴*を埋めます。小さい穴を埋めるか、すべての穴を埋めるかを選択します。[穴を埋める]をクリックしてください。追加されたテクスチャは青色で示されます。

* Windowsのみ。

 口腔内スキャンを比較して、歯肉退縮、歯牙の摩耗、その他の違いを追跡します。参照スキャンと比較する口腔内スキャンを選択してください。[終了]をクリックしてください。

デフォルトでは、色付きの距離マップが適用されます。互いにアライメントされた2つのスキャンを表示するには、スマートパネルの[ビューア ]タブで、[オーバーレイ]を選択してください。比較を無効にするには、[スキャンの比較]をオフにしてください。

フェイススキャンツール

 フェイススキャンを3D X線に合わせます。

 フェイススキャンを口腔内スキャンに合わせます。

診断所見の追加

スマートパネルの[所見 ] タブでは、歯の病変、顎関節の問題、または歯に関するその他の診断所見を記録できます。

- 事前に定義された診断所見をその歯に追加するには、[診断]ツールメニューで[所見 ]をクリックします。または、スマートパネルの[所見 ] タブで[所見の追加]をクリックします。必要に応じて、所見の[スクリーンショット ] をクリックして、スクリーンショットを含めてください。
- 所見を削除するには、所見の上にカーソルを置くか、所見を選択し、 をクリックして[削除]を選択してください。
- カスタムの診断所見を追加するには、検索フィールドにカスタムの名前を入力し、[Enter]キーを押すか[追加]をクリックしてください。
- 必要に応じて、ドロップダウンメニューをクリックしてステータスを割り当ててください。

注記

- 歯牙のワークスペースでは、ステータスは歯式チャートにも視覚的に示されます。
- 歯牙のワークスペースで所見を追加した場合、その所見は特定の歯に追加されます。
- 別のワークスペースで所見を作成した場合は、歯式番号のプレースホルダーをクリックし、歯式番号を入力して、特定の歯牙に所見を割り当ててください。

フォーカスエリア検出

本取扱説明書に記載されている機能のうち、国や地域によっては未認可、未販売、または未承諾の場合があります。

DTX Studio Clinicでは、2D口腔内X線画像（IOR）でフォーカスエリアを自動的に検出できます。IORキャプチャデバイスは、デジタルセンサーかアナログPSPプレートのいずれかです。

フォーカスエリア検出はAIを利用したアルゴリズム（人工知能）であり、畳み込みニューラルネットワークを使用して画像を分割し、歯科所見またはアーチファクトのキャプチャが存在する可能性がある関心領域を特定します。

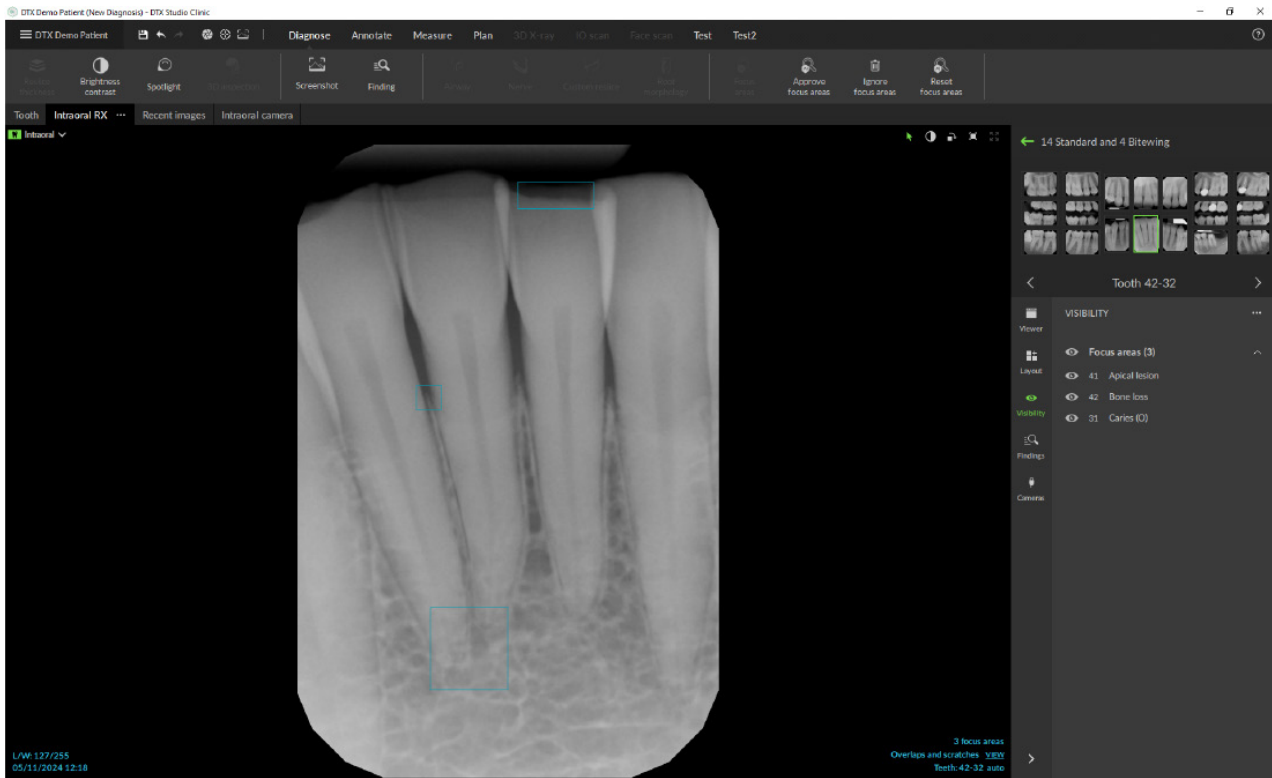
対応しているフォーカス検出エリアは以下のとおりです。

- 歯科所見：う蝕、根尖病変、根管欠損、辺縁部欠損、ボーンロス（骨吸収）、および歯石。
- アーチファクトのキャプチャ：オーバーラップとスクラッチ。

フォーカスエリア検出の開始

口腔内画像をキャプチャまたはインポートすると、フォーカスエリア検出が自動的に実行され、画像に特別な注意が必要な領域が含まれているかどうかを確認できます。これは、画像の上を走る青い線で確認できます。MagicAssistの設定で無効になっている場合は、[診断]メニューバーの[フォーカスエリア ] をクリックします。

- 画像に歯科所見の可能性がある場合、青い[フォーカスエリア検出]アイコン  が画像の左上隅に数値と共に表示され、歯科所見の数が示されます。
- 画像に青いアイコンが含まれていない場合は、歯科所見の可能性が検出されなかったか、画像がチェックされていません。これは、潜在的な歯科所見がないという意味ではありません。この機能を使用するときは、注意が必要です。
- 画像に複数の歯牙や傷が重なっている可能性がある場合は、右下に通知が表示されます。この通知を確認するには、[表示]をクリックしてください。



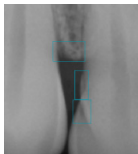
フォーカスエリア検出の管理

1. フォーカスエリア検出が完了したら、フォーカスエリア検出アイコンのある画像をダブルクリックします。

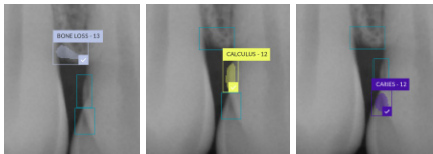
注記

本取扱説明書に記載されている機能のうち、国や地域によっては未認可、未販売、または未承諾場合があります。

- フォーカスエリアは口腔内画像上で青い四角形で可視化されます。



- フォーカスエリアにカーソルを合わせると、検出された歯の色、歯の番号（既知の場合）、および検出された潜在的な歯科所見の種類が表示されます。



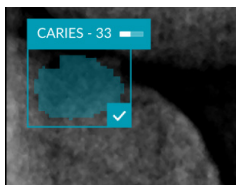
う蝕の場合、部位は以下のように表示されます：

- **D**：遠心
- **M**：近心
- **O**：咬合
- **B**：頬側

う蝕の深さは次のように表示されます：

- **E**：エナメル
- **D**：象牙質
- **P**：歯髄腔

分析後、フォーカスエリアを左クリックして潜在的な歯科所見を受け入れるか、フォーカスエリアを右クリックして拒否するかを選択してください。



2. 受け入れることを選択すると、フォーカスエリアは診断所見に自動的に変わります。これはスマートパネルの[所見 ]タブに追加されます。

フォーカスエリアはスマートパネルの[表示 ]タブにも一覧表示され、スマートパネルの表示機能の表示アイコンで表示と非表示を切り替えることができます。

インプラントと治療の計画

[計画]ツールバーには、治療計画を立てるためのツールが用意されています。これらのツールは、(CB) CT データまたは3D X線にアライメントされた口腔内スキャンを含むすべてのワークスペースで使用できます。

	自動計画	ソフトウェアに初期インプラント計画を計算させます。
	インプラントの追加	手動でインプラントを計画します。
	アンカーピンの追加	アンカーピンを追加します。
	すべてのインプラントの平行化	同じ顎のすべてのインプラントを、選択したインプラントに対して平行に並べます。
	新規インプラント計画	別のインプラント計画を追加します。完了したら、スマートパネルの[インプラント計画]タブでインプラント計画を切り替えます。
	サージカルテンプレート	ローカル製作用のサージカルテンプレートを作成します。サージカルテンプレートの範囲を定義し、正しいスリーブのタイプを設定してください。[終了]をクリックします。
	NobelGuide	ノーベルバイオケアのNobelGuideを作成し、オーダーします。
	製品のオーダー	ノーベルバイオケアにインプラント計画のアイテムをオーダーするか、製品番号をコピーしてください。
	インプラント製品のインストール	どのインプラントが計画可能かを管理します。

自動計画

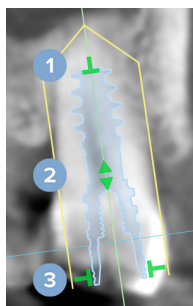
ソフトウェアが1本の歯牙または隣接する2本の歯牙の初期インプラント計画を提案できるようにするには、口腔内スキャンを3D X線と合成する必要があります。

注記：自動計画の適用には患者に3本以上の歯牙がある必要がありますが、このソリューションは1本のインプラントだけでなく、隣接する2本のインプラントや隣接する2本の歯牙にブリッジを装着する場合も想定して最適化されています。

1. メニューバーで[計画]をクリックします。
2. [自動計画]  をクリックします。
3. 必要に応じてインプラント計画提案を調整し、[次へ]をクリックします。
4. 検出された歯牙を確認し、[終了]をクリックします。
5. 計算されたインプラント位置がシーンに表示されます。インプラントは、位置が調整されるまではスマートパネルで[自動]と表示されます。

インプラントの配置

1. メニューバーで[計画]をクリックします。
2. [インプラントの追加] をクリックします。
3. インプラントのショルダーと先端部を指定します。
4. インプラントの位置を変更するには、別の領域にカーソルを合わせます。マウスカーソルが平行移動  または回転  に変わります。クリックしてドラッグし、そのアクションを適用します。



- 1 長さを調整します。
- 2 左右または上に移動します。
- 3 直径を調整します。

注記

インプラントまたはアンカーピンを変更したら、必ず作成したサージカルテンプレートを更新してください。スマートパネルの [インプラント計画] タブのタイルにカーソルを合わせ、[更新] を選択します。

アンカーピンの追加

1. メニューバーで[計画]をクリックします。
2. [アンカーピンの追加] をクリックします。
3. アンカーピンのショルダーと先端部を指定します。
4. 別の領域にマウスカーソルを合わせると、マウスカーソルが平行移動  または回転  モードに変わります。クリックしてドラッグし、そのアクションを適用します。

すべてのインプラントを平行に埋入

インプラントを基準インプラントに平行に埋入するには、次の手順に従ってください。

1. 並行に埋入するインプラントを右クリックします。
2. [並行] を選択します。
3. 基準インプラントを選択します。

注記

平行に埋入するのは、アバットメントまたはインプラントのプラットフォームです。

同じ顎にすべてのインプラントを並列に埋入するには、次の手順に従ってください。

1. リファレンスとして使用するインプラントを選択します。
2. メニューバーで[計画]をクリックします。
3. [すべてのインプラントの平行化] をクリックします。

インプラントまたはアンカーピンのロック

インプラントまたはアンカーピンをロックするには、いずれかのビューアでオブジェクトを右クリックし、対応するオプションを選択します。

サージカルテンプレート

インプラント計画の作成が完了したら、サージカルテンプレートを院内製作用に準備できます。

サージカルテンプレートの準備

1. [インプラント]ワークスペースに移動します。
2. [計画]ツールメニューの[サージカルテンプレート ]をクリックします。
3. サージカルテンプレートの範囲を定義し、正しいスリーブのタイプを設定して[次へ]をクリックします。
4. 検査ウィンドウを追加し、ラベルを追加して、エキスパート設定を行い、[終了]をクリックします。
5. 低解像度のサージカルテンプレートが青色でシーンに追加されます。

サージカルテンプレートの仕上げ

サージカルテンプレートのデザインの準備が完了したら、印刷用の高解像度サージカルテンプレートを生成します。

1. 前のウィザードを終了すると、ツールチップが表示されます。[生成]をクリックします。
または、スマートパネルの[インプラント計画 ] タブで、サージカルテンプレートにカーソルを合わせ、[テンプレートの生成]を選択します。
2. システムがライセンスチェックを行い、テンプレートを作成できる正しいライセンスまたはPlus+機能のサブスクリプションが存在するかどうかを確認します。
3. 希望する設定を選び、[次へ]をクリックします。
4. 契約条項をよく読みます。承諾するには、[以上すべての内容を読み、これに同意します]をクリックします。
5. [生成]をクリックします。
6. オーダーの概要が表示されます。[オーダーする]をクリックします。
7. サージカルテンプレートと指示書が患者記録に追加されます。

注記

DTX Studio Homeでは、サージカルテンプレートを[共同編集 ]アクションでSprintRayに送信できます。

8. 他のプリンタ設定でサージカルテンプレートを再計算するには、...をクリックして[テンプレートの再生成]を選択します。この再計算は無料です。

NobelGuide

インプラント計画の作成が完了したら、NobelGuideをノーベルバイオケアでの製作用に準備できます。

NobelGuideの作成

1. メニューバーで[計画]をクリックします。
2. [NobelGuide - 3. 必要に応じてNobelGuide提案を調整し、[次へ]をクリックします。
- 4. NobelGuideのデザインを確認し、[終了]をクリックします。
- 5. NobelGuideがシーンとスマートパネルに表示されます。

NobelGuideのオーダー

1. 前のウィザードで[ウィザード終了時にオーダーダイアログを表示]が選択されていた場合は、自動的にオーダーウィザードに移動します。
あるいは、前のウィザードを終了したときに表示されるツールチップの[オーダー]をクリックします。
または、スマートパネルの[インプラント計画 - 2. 入力されている配達先情報を選択または確認し、不足している情報を入力します。[次へ]をクリックします。
注記
[製作についての特別なコメント]に入力すると、オーダー処理に時間がかかる場合があります。
- 3. [上記すべてを読み、同意します]を選択し、利用条件すべてを確認し、承認したことを確認します。
- 4. オーダーの概要が表示されます。続行するには、[オーダーする]をクリックします。
- 5. NobelGuideオーダーがDTX Studio Homeの患者記録の[オーダー]タブに追加されます。そこで[オーダーの表示]をクリックすると、DTX Studio Goでオーダーを追跡できます。

インプラント製品のオーダー

インプラント計画アイテムをオーダーするには、次の手順に従ってください。

1. メニューバーで[計画]をクリックします。
2. [製品のオーダー - 3. [続ける]をクリックすると、ノーベルバイオケアオンラインストアに移動します。

レポート

レポートの作成

所見を含むレポート、または患者に関連する文書のテンプレートとしてのレポートを作成するには、次の手順に従ってください。

1. Clinicモジュールで、患者メニューを開きます。
2. [エクスポート - 3. レポートテンプレートを選択します。
- 4. [レポートのエクスポート]をクリックします。
- 5. 該当するレポートが編集可能な.odt形式でエクスポートされ、デフォルトのテキストエディタ（Microsoft Office、LibreOffice、OpenOffice Writerなど）で開きます。
- 6. 必要に応じて変更を加えます。
- 7. レポートを保存します。

医院のロゴの追加

デフォルトでは、DTX Studio Clinicのアイコンがレポートヘッダーに追加されます。カスタムのロゴを追加するには、次の手順に従ってください。

1. [DTX Studio Home **設定**] サイドバーで、[全般]をクリックします。
2. [参照]をクリックします。
3. 新しいロゴを選択します。
4. [開く]をクリックします。
5. [OK]をクリックします。

DTX Studio Implantを開く

DTX Studio ClinicとDTX Studio Implantの接続

1. [DTX Studio Home **設定**] サイドバーで、[DTX Studio Implant]をクリックします。
2. [参照]をクリックして、コンピュータ上にあるDTX Studio Implantのインストール場所に移動します。

注記

患者データをDTX Studio Implantの患者記録に手動で追加する必要がある場合、つまり患者記録が既にDTX Studio Implantに存在している場合や、口腔内スキャンがDTX Studio Implantにエクスポートされているが3D X線データとアライメントされていない場合は、患者データの保存先を設定してください。

3. [OK]をクリックします。

DTX Studio Implantの起動

1. 患者リストで患者記録を選択します。
注記
該当する患者には少なくとも1つの3D X線データが必要です。
2. [インプラント ] をクリックします。
3. [既存の患者を開く] または [新しい患者にエクスポート] を選択します。
4. 3D X線データが複数ある場合は、該当するタイルを選択します。
5. [エクスポート] をクリックします。
6. 正常に完了したことを示すメッセージが表示されます。[OK] をクリックします。
7. 患者記録が作成され、DTX Studio Implantに表示されます。

オーダーとパートナーの共同編集

手術計画、サージカルテンプレート、または補綴修復のオーダー

1. 患者リストで患者記録を選択します。
2. [共同編集 ] をクリックします。
3. [手術計画 ]、[サージカルテンプレート ]、または [補綴修復 ] にカーソルを合わせます。
4. [選択] をクリックします。
5. 患者データを選択して、ラボまたは歯科医師に送信します。
6. [続ける] をクリックします。
7. オーダーのドラフトがDTX Studio Goに作成されます。足りないデータを追加し、オーダーを接続されたラボまたは歯科医師に送信します。
8. 患者記録の[オーダー] タブをクリックすると、この患者のすべてのオーダーが表示されます。

注記

本取扱説明書で言及している製品のうち、国や地域によっては一部の製品が未認可、未販売、または未承諾場合があります。ご了承ください。

提携パートナーとの接続の確立

一部の他社パートナーは、DTX Studio Clinicに直接統合されたサービスを提供できます。オーダーをDTX Studio Clinicで作成し、提携パートナーのフレームワークに送信できます。

お住まいの地域でサービスプロバイダーを利用できる場合は、DTX Studio Goでパートナーアカウントを接続することから始めてください。

1. [共同編集 ] をクリックします。
2. 提携パートナー名にカーソルを合わせて[セットアップ] を選択します。
3. [続ける] をクリックします。
4. DTX Studio Goの指示に従って接続を確立します。

提携パートナーからの直接オーダー

提携パートナーアカウントがDTX Studio Goに接続されると、提携パートナーのサービスを利用できるようになります。

1. [共同編集 - 2. 提携パートナー名にカーソルを合わせて[選択]をクリックします。
- 3. 送信する患者データを選択します。
- 4. [続ける]をクリックします。
- 5. ファイルがアップロードされます。
- 6. 提携パートナーのWebサイトでオーダープロセスを続行します。
- 7. 送信が完了すると、該当するオーダーが患者記録の[パートナーの症例]タブに追加されます。

提携パートナーの症例の表示または新しいデータの追加

1. 患者リストで患者記録を選択します。
2. [オーダー]タブをクリックします。
 - 提携パートナーのWebサイトで症例を開くには、[症例の表示]をクリックしてください。
 - 症例に新しいデータを送信するには、[新しいデータを追加]をクリックしてください。



Nobel Biocare AB
Box 5190, 402 26
Västra Hamngatan 1,
411 17 Göteborg,
Sweden

www.nobelbiocare.com

オーストラリアのスポンサーおよび配布元：

Nobel Biocare Australia Pty Ltd
Suite 4.02, Level 4, Building A,
1 Eden park drive Macquarie Park NSW 2113
Australia

電話：+61 1800 804 597

ニュージーランドの配布元：

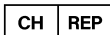
Nobel Biocare New Zealand Ltd
33 Spartan Road
Takanini, Auckland, 2105
New Zealand

電話：+64 0800 441 657

トルコの配布元：

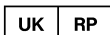
EOT Dental
Sağlık Ürünleri ve Dış Ticaret A.Ş.
Nispetiye Mah. Aytar Cad.
Metro İş Merkezi No: 10/7
Beşiktaş İSTANBUL

電話番号：+90 2123614901



CH輸入業者/正規代理店：

Nobel Biocare Services AG
Balz Zimmermann-Strasse 7
8302 Kloten
Switzerland



UK責任者：

Nobel Biocare UK Ltd.
4 Longwalk Road
Stockley Park
Uxbridge UB11 1FE
United Kingdom



ifu.dtxstudio.com/symbolglossary
ifu.dtxstudio.com